

1 2 月 1 3 日 (第 2 日)

12月13日（水）第2日 午前10時00分開議

出席議員

1 番	宮 下 成 美	2 番	寛 本 語
3 番	上 本 雄一郎	4 番	平 本 美 幸
5 番	美 濃 英 俊	6 番	古 居 俊 彦
7 番	長 坂 実 子	8 番	岡 野 数 正
9 番	平 川 博 之	10 番	沖 也 寸 志
12 番	上 松 英 邦	13 番	吉 野 伸 康
14 番	浜 西 金 満	15 番	山 本 一 也
16 番	酒 永 光 志		

欠席議員

沖 元 大 洋

本会議に説明のため出席した者の職氏名

市長	明 岳 周 作	副市長	土手 三生
教育長	岡 田 學	総務部長	奥 田 修 三
企画部長	畑 河 内 真	危機管理監	佐 野 数 博
市民生活部長	江 郷 壺 行	福祉保健部長	仁 城 靖 雄
産業部長	高 橋 龍 二	土木建築部長	西 川 貴 則
教育部長	山 井 法 男	消防長	丸 石 正 男

本会議に職務のため出席した者の職氏名

議会事務局長	矢 野 圭 一
議会事務局次長	長 原 範 幸
事務局専門員	流 田 洋 充

議事日程

日程第1	一般質問
日程第2	同意第13号 公平委員会の委員の選任につき同意を求めることについて
日程第3	諮問第2号 人権擁護委員候補者の推薦について
日程第4	諮問第3号 人権擁護委員候補者の推薦について
日程第5	諮問第4号 人権擁護委員候補者の推薦について
日程第6	議案第67号 江田島市一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例案について
日程第7	議案第68号 江田島市特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例案について
日程第8	議案第69号 江田島市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する

		条例の一部を改正する条例案について
日程第 9	議案第 7 0 号	江田島市一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部を改正する条例案について
日程第 1 0	議案第 7 1 号	江田島市会計年度任用職員の給与、旅費及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例案について
日程第 1 1	議案第 7 2 号	江田島市特別会計条例の一部を改正する条例案について
日程第 1 2	議案第 7 3 号	江田島市国民健康保険税条例の一部を改正する条例案について
日程第 1 3	議案第 7 4 号	江田島市乳幼児等医療費支給条例の一部を改正する条例案について
日程第 1 4	議案第 7 5 号	江田島市空家等対策条例の一部を改正する条例案について
日程第 1 5	議案第 7 6 号	江田島市老人福祉センター設置及び管理条例を廃止する条例案について
日程第 1 6	議案第 7 7 号	(仮称) 柿浦交流プラザ新築工事(建築)請負契約の締結について
日程第 1 7	議案第 7 8 号	公の施設の指定管理者の指定について
日程第 1 8	議案第 7 9 号	広島県市町総合事務組合の共同処理する事務の変更及び広島県市町総合事務組合規約の変更に係る協議について
日程第 1 9	議案第 8 0 号	江田島市過疎地域持続的発展計画の変更について
日程第 2 0	議案第 8 1 号	令和 5 年度江田島市一般会計補正予算(第 5 号)
日程第 2 1	議案第 8 2 号	令和 5 年度江田島市国民健康保険特別会計補正予算(第 1 号)
日程第 2 2	議案第 8 3 号	令和 5 年度江田島市介護保険(保険事業勘定)特別会計補正予算(第 2 号)
日程第 2 3	議案第 8 4 号	令和 5 年度江田島市下水道事業会計補正予算(第 2 号)

開会（開議） 午前１０時００分

○議長（酒永光志君） 皆さん、おはようございます。

ただいまから、令和５年第６回江田島市議会定例会２日目を開きます。

ただいまの出席議員数は１５名であります。

沖元大洋議員から、欠席する旨届出がありました。

直ちに本日の会議を開きます。

本日の議事日程は、お手元に配付したとおりであります。

日程第１ 一般質問

○議長（酒永光志君） 日程第１、一般質問を昨日に引き続き行います。

一般質問の順番は、通告書の順に行います。

これより、３番 上本議員の一般質問を行います。発言を補完するためパネル等の使用について申出がありましたので、これを許可しております。

３番 上本雄一郎議員。

○３番（上本雄一郎君） おはようございます。３番議員、政友会の上本雄一郎です。

通告に従い２項目８点について質問をいたします。

まず、インフラ施設の維持管理体制の強化についてです。

江田島市インフラ維持管理計画が目的とする計画的な予防保全型の維持管理への転換を図ることは、施設の延命化や機能維持につながるだけでなく、計画的かつ持続的な維持管理やライフサイクルコストの縮減を進める上で極めて重要な取組であると考えます。

市民の安心・安全な暮らしを確保するには、引き続きインフラ施設の機能の維持にしっかりと努めなければなりません。この点で私は、これまで質問に立たれた酒永光志議員や岡野数正議員と問題意識を同じくするものです。

他方で、住んでよし、訪れてよしのまちを実現するには、林道や農道を含めて最低限のところは、観光振興の一環としても環境美化に取り組む必要があると思います。そこで、次の点について伺います。

１、インフラ施設点検員及びインフラ施設等清掃員の所掌事務と活動状況をどう考えているか。

２、草刈り、伐採など維持管理に係る業務委託と直営対応とアダプト活動とのバランスをどう考えているか。

３、市公式LINEを通じた道路、公園等の不具合の通報状況と対応状況について。

４、市道など施設の減量化に向けた取組について。

以上の４点です。

次に、三高中学校統合の進捗状況についてです。

三高中学校については、平成２１年６月に示された江田島市学校統合検討委員会第２次答申において、能美中学校の新校舎建設の時期を目途に能美中学校に統合するとされています。能美中学校は平成２５年９月に完成しており、それから１０年経過している

にもかかわらずいまだに統合は実現していません。

令和以降の出生数が80人前後で推移する厳しい現実を踏まえて、公立の義務教育機関の設置者たる江田島市には、これまで以上に将来を見据えた教育環境の整備を進める責任があります。行政及び議会の責任として、そして、何よりも未来を生きるこどもたちに対する我々大人の責任として、教育環境の整備には重大なる使命感と覚悟を持って取り組まなければなりません。

そこで、次の点について伺います。

- 1、生徒数の現状と今後の見込みについて。
- 2、現在の教育環境をどう考えているか。
- 3、保護者や地域住民の統合に対する理解は進んでいるか。
- 4、早急に統合するべきと思うがどう考えているか。

以上、2項目8点について答弁を求めます。

○議長（酒永光志君） 答弁を許します。

明岳市長。

○市長（明岳周作君） 失礼いたします。おはようございます。本日もどうぞよろしくお願いいたします。

上本議員から2項目8点の御質問をいただきました。1項目めのインフラ施設の維持管理体制の強化については私からお答えをさせていただき、2項目めの三高中学校統合の進捗状況については、教育長からお答えをさせていただきます。

初めに、1項目めのインフラ施設の維持管理体制の強化についてでございます。

まず、1点目のインフラ施設点検員及びインフラ施設等清掃員の所掌事務と活動状況をどう考えているかとお尋ねでございます。

本市のインフラ施設点検員は2名体制で市道966路線、278キロメートル、道路反射鏡1,281本、港湾6施設、漁港5施設に加え、排水機場や防潮扉、公園等の施設点検パトロールを定期的を実施をし、重機を必要としない簡易な舗装修繕や倒木の処理などを行っております。

次に、インフラ施設等清掃員は6名体制で3名ずつの2班に分かれ、建設課が所管する市道、里道、港湾及び漁港施設のほか、農道やオリーブ園、各小中学校、わくわくセンター及び運動公園など、市が管理するインフラ施設等の草刈り、清掃を行っております。

今後とも、インフラの施設点検員及び施設等清掃員の作業が直営であることの迅速性の強みを生かし、適正な管理に向けて取組を継続してまいります。

次に、2点目の草刈り、伐採など維持管理に係る業務委託と、直営対応とアダプト活動とのバランスをどう考えているかとお尋ねでございます。

今年度、インフラ施設の草刈り、伐採作業に約4,000万円の予算を計上し、各施設の活用状況や地域のニーズを踏まえ、現場の状況に応じて業務委託や直営などにより適切に対応しているところでございます。

この予算の内訳としましては、江田島市シルバー人材センターや修繕業者への委託が約4割、直営となるインフラ施設点検員及び施設等清掃員の対応が約5割、地域ボラン

ティアとなるアダプト活動への支援が約1割となっております。

例えば市道の草刈りの場合、一定期間内に集中的な作業が必要となることから、市道飛渡瀬鹿川線など、区間延長が長い26路線の年2回分を江田島市シルバー人材センターへ委託し、比較的延長が短い区間や緊急の対応を要する場合にインフラ施設等清掃員が対応をしております。

また、高所作業車での作業が必要な伐採等につきましては、修繕業者に依頼をし、手作業で可能な小規模な作業については、直営で対応しているところでございます。

なお、アダプト制度につきましては、学校や企業、地域の皆様が身近な道路や河川などを清掃、除草する美化活動に対して支援する制度であり、現在53の団体に登録いただいております。

これまで地域の皆様から、高齢化により一斉清掃活動が難しくなったことの声やインフラ施設等清掃員の迅速な対応への感謝など、様々な御意見をいただいております。

施設管理者として、地域の皆様の声や費用対効果を踏まえた上で、業務委託すべき作業、直営が可能な作業、アダプト活動への支援などのバランスについて、適正な維持管理ができるよう検討をしております。

次に、3点目の市公式LINEを通じた道路、公園等の不具合の通報状況と対応状況についてでございます。

市公式LINEによる道路、公園等の不具合通報システムにつきましては、本年9月1日より運用を開始しております。このシステムは、道路や公園などで不具合を見つけた方が御自身のスマートフォンにより現場の状況を市に通報していただくというものでございます。従来の電話による通報に比べますと、正確な場所や損壊状況などを担当者が容易に把握できるため、迅速な対応が可能になっております。

9月1日から11月末までの3か月間で、このシステムを利用して、道路損壊や倒木など10件の通報をいただいております。通報の内容としましては、市道が5件、県道2件、水路1件、林道1件、里道1件となっており、これらの通報につきましては、広島県への情報提供を含めて全て対応を完了しております。

なお、システム運用開始以来、広報えたじまや市のホームページなどを通じて周知をしているほか、市内大型商業施設での無料操作サポートなど、市民の皆様にご直接操作方法を紹介させていただいております。今後もより多くの市民の皆様にご公式LINEをご利用いただけるよう、引き続き周知に努めてまいります。

次に、4点目の林道など施設の減量化に向けた取組についてでございます。

本市では、平成22年7月に定めた基準により市道を認定しております。これ以降、地域の環境が変わり、一般交通の用に供する必要がなくなった市道につきましては、地元の意向を確認した上で廃止をし、減量化を図ってきたところでございます。

今後とも、周辺環境の変化などにより市道などの施設が公共の用に供するものでなくなった場合には、市民の皆様の御理解や行政サービス水準の維持等の観点を踏まえ、減量化の検討を進めてまいります。

以上でございます。

○議長（酒永光志君） 岡田教育長。

○教育長（岡田 學君） おはようございます。

上本議員から三高中学校統合の進捗状況について、4点の御質問をいただきました。

まず最初に、本市におけるこれまでの学校統合の状況について説明をさせていただきます。

本市は、平成16年11月に4町が合併し誕生いたしました。合併時は、小学校16校、中学校6校、合計22校あったものの、江田島市学校統合検討委員会の2回の答申を経て、現在は小学校6校、中学校4校となっております。

第2次答申の中で、三高中学校につきましては、能美中学校の新校舎建設の時期を目途に能美中学校に統合するとされておりました。第2次答申を踏まえ、教育委員会といたしましては、平成21年度以降、保護者の皆様や地域の皆様の御理解をいただくため説明会等を実施してまいりました。しかしながら、保護者の皆様や地域の皆様から統合に関する合意を得ることはできず、平成25年の能美中学校の新校舎完成後も、能美中学校への統合はできていないのが現状でございます。

それでは、第1点目の生徒数の現状と今後の見込みについてでございます。

令和5年12月5日時点での三高中学校の在籍生徒数は20名となっております。内訳を申し上げますと、通常学級につきましては、第3学年が、男子5名、女子4名の計9名、第2学年が男子のみの8名、第1学年につきましては、今年度はゼロ名となっております。特別支援学級につきましては、第3学年が女子2名、第1学年が男子1名となっております。

次に、今後の生徒数の見込みについてお答えをさせていただきます。

現在、三高小学校に在籍しております児童が全て三高中学校に進学したと仮定した場合に、全生徒数は、令和6年度が21名、令和7年度が18名、令和8年度が32名、令和9年度が25名、令和10年度が26名と見込まれております。しかしながら、昨年度末に三高中学校への入学見込みとなっております4名のうち3名が能美中学校へ進学となった経緯がございます。また、それ以前にも、毎年、数名程度が能美中学校へ進学する状況が続いております。このようなことを踏まえますと、令和6年度以降につきましても、現在の見込みより実際の生徒数はかなり減少する可能性が高いと考えております。

次に、2点目の現在の教育環境をどう考えているかについてでございます。

初めに、中学校に求められる教育的な役割についてお話をさせていただきます。

中学校に求められる役割は、生徒の様々な資質、能力を伸ばしつつ、社会的自立の基礎、社会の形成者としての基本的資質を養うことでございます。教科等の知識や技能を習得させるのみならず、制度が集団の中で多様な考えに触れ合い、認め合い、協力し合い、切磋琢磨することを通じて、思考力や判断力、表現力、問題解決能力などを育み、社会性や規範意識を身につけさせることが中学校の役割であると考えております。その役割を果たすためには、学校は社会の縮図と言われておりますように、一定規模の生徒集団が確保される教育環境が必要となります。

このことを踏まえますと、今後、極端な男女比率のクラスや5名以下の学級が生じる見込みである三高中学校では、本来、中学校に求められている教育活動や集団性の育成

が著しく困難になり、中学校として求められる教育環境としては十分ではないと考えております。

続いて、3点目の保護者や地域住民の統合に関する理解は進んでいるかについてでございます。

平成21年6月に、江田島市学校統合検討委員会は、第2次答申を取りまとめて以降、保護者の皆様や地域の皆様の御理解をいただくために説明会等を実施するとともに、統合に関する教育委員会の考えを示したリーフレット等の資料を作成し、配布をするなどしてまいりました。

今年度に関しましては、7月にPTA代表の方々やまちづくり協議会の代表の方々と協議を行いました。その場において、少なくとも年内12月までは小学校と中学校の保護者だけで話をしたいので、教育委員会の説明や資料は必要ないとの意向が示され、対応に苦慮しているところでございます。しかしながら、昨日、第2回目の協議を行ったところでございます。

このような状況ではございますけれども、これまでの説明会や協議を踏まえまして、次の2点が統合に関する理解を図る上で大切な観点だと考えております。1点目は、先ほど説明をいたしました生徒の教育環境の整備について。2点目は、学校と地域の関係性についてでございます。

1点目の生徒の教育環境の整備については、教育活動や指導体制、通学等を含めた安全の確保の重要性について多くの御意見をいただきながら、保護者の皆様や地域の皆様の一定の御理解が得られてきていると受け止めております。

2点目の学校と地域の関係性については、地域から学校がなくなることへの寂しさやまちづくりに対する影響への懸念などの御意見をいただいております。この点につきましては御理解が得られていないと受け止めております。

また、この二つの観点は切り離して考えることがなかなか難しいことがあり、結果として今日までに至っております。

最後に、4点目の早急に統合するべきと思うがどう考えているかについてでございます。

教育環境の改善を図り、集団での教育活動の制約を解消するためにも早急に統合すべきであると考えております。現在の状況では、来年春の統合は叶いませんが、令和7年度には全校生徒数が18名となります。第3学年の生徒は1名、新入生は4名の見込みです。そのため、できる限り早い時期に統合したいというのが教育委員会としての考えでございます。

学校と地域の関係性において、確かに学校は地域にとってのよりどころともいえる存在であり、地域にある学校を残したいという思いも十二分に理解をしております。しかしながら、それ以上に考えなくてはならないのは、学校はこどもの学習の場であるということでございます。そして、こどもが自らの可能性を十分開花できるように教育環境を整えることが教育委員会の使命でございます。このことを第一義に、今後も計画的に強く統合を働きかけてまいります。

以上でございます。

○議長（酒永光志君） 上本議員。

○3番（上本雄一郎君） 市長と教育長からそれぞれ丁寧な答弁をいただきました。それでは幾つか再質問をさせていただきます。

まず、1項目めのインフラ施設の維持管理体制の強化についてです。

インフラ施設点検員及びインフラ施設等清掃員の所掌事務と活動状況をどう考えているかについて答弁をいただきました。現在、インフラ施設点検員は2名の体制です。市道966路線278キロ、道路反射鏡1,281本、港湾6施設及び漁港5施設に加え、排水機場や防潮扉、公園等の施設点検パトロールを定期的に実施しているとのこと。また、簡易な舗装修繕や倒木の処理も行っているとのこと。対象施設の数は膨大で、その種類も多種多様です。市民の安心・安全を担保する上で極めて大切な業務だと思います。それゆえ、日常点検の計画でうたう2か月に1回、3か月に1回といった周期で、着実かつ綿密に点検に当たれる体制を確保するよう求めます。

続いて、インフラ施設等清掃員の活動状況についても答弁をいただきました。現在6名体制で二つの班に分かれ、建設課が所管する市道、里道、港湾、漁港施設のほか、農道やオリーブ園、各小中学校、わくわくセンターや運動公園など、市管理のインフラ施設等の草刈り、清掃を行っているとのこと。建設課以外の課からの出動要請にも快く応じておられ、多種多様な市内インフラ施設の維持管理に日々当たられています。これら8名の方々は、うだるような暑さが続く真夏の炎天下も鋭意点検や草刈り、清掃に従事され、我々市民の暮らしが安心安全かつ快適なものとなるよう、今日も市内のどこかで活動をされています。

このたび業務日報を確認させていただきましたが、日々計画的に維持管理に当たられていることがよく分かりました。しかし、こうした活動状況は、市民の皆様には必ずしもはっきりと伝わっていないと考えます。市内インフラ施設の維持管理の状況について、今後、市民の理解が更に深まるよう広報に努めていただきたいと思います。

続いて、草刈り、伐採など維持管理に係る業務委託と、直営対応とアダプト活動とのバランスをどう考えているかについて答弁をいただきました。業務委託が約4割、インフラの施設点検員及び施設等清掃員による直営対応が約5割、アダプト活動支援が約1割。つまり、委託4対直営5対アダプト1対ということです。

議員の多くがそうだと思いますが、道路や河川、水路に関する要望や相談は住民にとって身近な問題であるだけに多く寄せられてきます。しかし、行政としては、我々議員と同様に、仮にその事業の必要性や妥当性を認める場合でも、予算の問題や優先順位の問題があり、すぐに着手できないという場合が多々あるということはよく分かります。

しかし、新設や改良工事の要望などと同様に、市民から多く寄せられる草刈り、伐採といった比較的軽微な維持管理に関する要望への対応につきましては、工夫の余地があると思います。

現状では、草刈りや伐採などの要望にもなかなか着手してもらえません。例えば、この草丈で対応すれば、あちらもこちらも対応しないといけなくなるとか、水の流れ自体に支障はないのでできないなどの理由がその都度上げられますが、直営対応する体制を拡充することで機動力が強化され、不安に思う市民の気持ちに寄り添った迅速な対応が

可能となるのみならず、事態が深刻化する前の段階で不具合箇所を早期に発見することにもつながるのではないかと考えます。

先日、令和５年度市民満足度調査の結果について執行部から報告を受けました。その中で、平成２５年度から令和５年度までの期間において、重要度ポイントと満足度ポイントがそれぞれどのように変化してきたのかが示されました。例えば調査項目、道路の整備については、令和５年度の調査結果では、重要度ポイントは７６．９と非常に高い数値を示す一方で、満足度ポイントは５３．０と非常に低い値にとどまっています。なお、この５３．０という満足度ポイントは、調査された全６８項目のうち６６位という低さであり、重要と考える市民が多いにもかかわらず市の取組に満足している市民が少ないことを如実に示しています。

同時に、より深刻に受け止める必要があるのは、この１１年間を通じて調査項目、道路の整備の満足度ポイントがほぼ横ばいで推移し、結果として、平成２５年度時点と変わらなかったということです。調査項目、河川や急傾斜地の防災対策についてもほぼ同様の指摘をできます。

現在、市政運営の柱として掲げる暮らしの基盤整備に密接に関わる調査項目は、総じて満足度ポイントが低く、ほかの分野の調査項目と比べて軒並み低位にとどまっているといえますが、土木建築部としてはこの結果をどのように受け止めているのか伺います。

○議長（酒永光志君） 西川土木建築部長。

○土木建築部長（西川貴則君） 市民満足度調査結果の受け止めに対する御質問です。

令和５年度の市民満足度調査のうち、道路の整備や河川や急傾斜地の防災対策の項目につきましては、いずれも満足度ポイントが平均を下回っていることに加え、他分野の調査項目と比べて低位にとどまっております。

また、満足度調査では自由意見もいただいており、総数４１０件のうち、基盤に関する意見は１０７件と最も多く、特に道路の整備については、道路にはみ出す草木の整備や路面状態が悪い道路の拡幅要望など、多くの御意見をいただいたところです。

道路や河川等の維持管理を含めた整備のためのハード対策に必要な予算を十分に確保できていないことがこのような御意見につながり、その結果、道路整備や河川等の防災対策の項目において、満足度や調査項目順位の低迷につながっているものと認識しております。

以上でございます。

○議長（酒永光志君） 上本議員。

○３番（上本雄一郎君） 市民からどのような声が寄せられているのか理解が深まりました。

しかし、やはり予算の問題もあります。アダプト活動に参画する団体数やその活動回数が飛躍的に増えるならば、目に見える形で市内の美化が進むかもしれません。維持管理に要する費用も低く抑えられるとは思いますが、しかし、活動が活発な団体でも年配の方々が多く、これ以上の協力要請は難しいと感じます。業務委託の拡大という方向性もあるかなとは思いますが、しかし、業務委託額もその分増えますので、費用対効果はどうなのかなとは思いますが。むしろ市民ニーズに即応できる機動力を自前で確保するため、直

営対応の体制を拡充するほうがよいのではないかと考えます。

なお、農道や林道については、現在、インフラ施設点検員の日常点検の対象施設になっていません。せめて、観光誘客を図る拠点たる江田島 6 峰、その周辺の林道だけでも点検対象施設に加えてしかるべきと考えます。そのためには、組織体制の拡充が必要です。増員を図るならば、より短いサイクルで細やかに日常点検に当たれるのみならず、ふだん住民の目が行き届きにくいインフラ施設の点検体制も強化できます。

同様に、インフラ施設等清掃員の体制の拡充を進めるならば、より迅速かつ機動的に市民から寄せられる草刈り等の要望にも対応可能となります。人件費の負担は増えますが、市民満足度の向上にも寄与し得る相乗効果の大きい取組ではないかと考えます。

来年度以降、人事院勧告に対応するため、会計年度任用職員の人件費が増える見込みであるとのことです。また、来年度には、定員管理適正化計画の見直しも予定されているものと承知しております。

ただ、やはり市政運営の柱として掲げる暮らしの基盤整備に密接に関わる調査項目において、総じて市民満足度が低く、ほかの分野の調査項目と比べ軒並み低位にとどまる自体には何らかの対応が迫られていると感じます。この点について、定員管理や職員の任用を担当する総務部長としてはどのように受け止め、今後どう対応しようとしているのか、お考えを伺います。

○議長（酒永光志君） 奥田総務部長。

○総務部長（奥田修三君） 議員御指摘のとおり、道路等の維持管理については、市民の皆様の日々の生活はもとより、観光客をお迎えする際の重要なインフラであることは認識しております。

また、草刈り等に際して最も迅速かつ機動的な体制は、市の職員が現場の状況に応じて、直営で対応することであることも認識しております。

一方、財政運営を預かる総務部としましては、スピード感と併せて管理の継続性や費用対効果を見極める必要もございます。

このため、所管部局の意向や実際に業務に従事されている職員の意見を伺い、最も効率的、効果的な方法を検討していきたい、このように考えております。

以上でございます。

○議長（酒永光志君） 上本議員。

○3 番（上本雄一郎君） 分かりました。

市役所の組織体制をどうするのがよいのかという点に関わる大きな問題です。財政という視点のみならず、市民目線に立った施設の適切な維持管理の推進という視点や、おもてなし環境の整備という視点も考慮して検討をしていただきたいと思います。

続いて、市公式 L I N E を通じた道路、公園等の不具合の通報状況と対応状況について答弁をいただきました。3 か月間で 10 件の通報があり、既に対応済みとのことです。身近なインフラ施設への関心を高め、点検の目を行き届かせる上で、極めて有意義な仕組みと考えます。また、これは不具合箇所早期発見や維持管理の効率化にも寄与するものです。

ただ、運用開始後、間もないので、今後更にシステムの周知に努める必要があります。

現在、市内各地で開催中のスマホ教室や健康づくりウォーキング教室などでもPRに努めていただきたいと思います。

続いて、市道など施設の減量化に向けた取組について答弁をいただきました。

日本社会全体が人口減少、超高齢化に向かう中、これまでのつくる時代とは異なる時代に突入しています。江田島市には、管理者として限られた資源、人、物、お金で市民の安全・安心をいかにして守るのが問われています。維持管理費の平準化や縮減を着実に進めるためにも、施設の減量化の議論に真剣に取り組まねばなりません。

まず、ここにいう施設の減量化に向けた取組とは、インフラ維持管理計画の最終ページに掲げられた必要施策に係る取組の一つです。この計画につきましては、昨年岡野数正議員が質問されていますので、ここでは1点のみ再質問いたします。

インフラ維持管理計画では、施設の減量化に向けた取組について、次のように記されています。今後、人口減少、少子高齢化などの進展により、各施設に求められる役割や機能も変化していくものと考えられます。そのため、施設の更新に当たっては、その施設の役割や機能を再確認し、その時点で要求される機能、サービス水準での更新や複合化、集約化、さらには廃止や撤去による減量化も検討する必要があります。このようにあります。（パネル表示により説明）

現在、公園については、鋭意取組を進められていますが、そのほかの土木系公共施設について、その時点で要求される機能、サービス水準での更新や複合化、集約化、更には廃止や撤去による減量化が進むのかどうか懸念しております。

昨年の12月定例会では、現在ほとんど利用されなくなっている道路の現状把握はできているのかとの岡野議員の質問に対して、当時の土木建築部長は、利用実態のある道路はおおむね把握しているが、利用実態のない道路という視点での調査は行ったことがないと応答した上で、今後、市道の路面を継続的に調査する中で、利用の有無を含め利用実態の把握に努めていきたいと答弁されています。

土木建築部におかれては、本年度、市道全路線を対象として路面性状調査に取り組まれています。軽自動車でも通行が困難で、歩いて路面状態を撮影して進まねばならない路線もあると聞きます。建設当時と異なり、今や動物のほうが多く通るのではないかと感じるような市道もあります。こうした市道については、今後の人口減少や少子高齢化を見据えて廃止や撤去による減量化も検討する必要があると感じるところですが、現状と今後の方向性について伺います。

○議長（酒永光志君） 西川土木建築部長。

○土木建築部長（西川貴則君） 市道の減量化の検討状況につきまして、現在、生活道路などの路面状況を診断して、劣化状況に応じた舗装の補修計画を策定し、これに基づく計画的な舗装の修繕を行うことを目的として、市道全路線を対象に路面性状調査を実施しております。この業務の中で、路面に草が繁茂しているような箇所や経年的に落ち葉が堆積している箇所などの実態把握により、市道の活用状況も見えてくるものと考えております。

今後は市道の実態調査の結果を踏まえ、その施設の役割や機能を再確認した上で、地域の皆様の御意見を伺いながら、施設の廃止や撤去による減量化について検討してまい

ります。

以上でございます。

○議長（酒永光志君） 上本議員。

○3番（上本雄一郎君） 分かりました。

市道全線を対象とする路面性状調査の結果が出そろった暁にはしっかりと分析を行い、よい個別計画の策定へとつなげていただきたいと思います。

いずれにせよ、江田島市においても、今ある全てのインフラ施設を現在と同じ管理水準で維持し続けることは不可能であり、施設の減量化は避けては通れない喫緊の課題です。施設の減量化を進める際の判断基準や手続などを含めて検討を重ねていただくよう求めます。

続いて、2項目めの三高中学校統合の進捗状況についてへと移ります。

ちょっと準備します。（パネルの準備）

まず、生徒数の現状と今後の見込みについて答弁をいただきました。

生徒数は非常に厳しい現状で、今後の見込みについても三高小学校の6年生全員が三高中学校に進学すると仮定して算出した生徒数よりも、実際にはかなり減少する可能性が高いとのこと理解いたしました。一議員として、また、こどもを育てる一人の親として、こどもたちの学びの環境を憂慮するものであることを強調し、次の点へと移ります。

現在の教育環境をどう考えているかについて答弁をいただきました。昨年6月市議会総務文教常任委員会の三高中学校区における現地調査に同行する機会がありました。三高小学校では、イェナプラン教育を参考とした自律・共同学習について、三高中学校ではGIGAスクール事業について、それぞれ説明を受けるとともに、各クラスの授業を参観させていただきました。

このとき議会へ提出した報告書が手元にありますので、三高中学校に関する部分をここで読み上げさせていただきます。

タブレットやノートパソコンを可能な限り生徒に使わせるよう授業に工夫がなされているのを目の当たりにして、隔世の感を覚えるとともに時代の要請ゆえやむを得ないことであると感じた。なお、GIGAスクール事業の調査ということで授業参観させていただいたところだが、現三高小学校6年生が4名である以上、来年度の三高中学校1年生の学級運営に対して強い懸念を抱く。少人数教育のよい面を否定するものではないが、一定規模の集団においてこそ生徒自身の健全な成長が図られるのではないかとの思いを強くした。昨年、授業参観した折に抱いた一定規模の集団においてこそ生徒自身の健全な成長が図られるのではないかとの思いは今も変わりません。市民の皆様にも一定御理解いただけるのではないかと思います。

確かに、学力については、ICT機器の効果的な活用や授業改善の不断の努力などを通じて、小規模校において更に伸びる可能性があります。しかし、これからの時代を生きるこどもたちにとって、今後ますます求められるコミュニケーション力、また、それを含めての人間力というのは、異なる価値観を有する人と人とが集う一定規模以上の集団においてこそ培われるものだと考えます。みんな違って、みんないいと言えるほどに多様な考え方や異なる価値観を持つ個人が一定数以上集まる学校生活を通じてこそ、生

徒自らの学びはより深まっていくものと考えますので、現在の教育環境を大変心配しております。

続いて、保護者や地域住民の統合に対する理解は進んでいるかについて、答弁をいただきました。

保護者や地域の皆様の理解を得るため働きかけを続けていること。また、その中で、今後の対応に苦慮されているとのことはよく分かりました。地域から学校がなくなることへの寂しさや、まちづくりに対する影響への懸念などがあり、統合に関する地元の理解が得られていないとのこと。地域と共に歩む学校です。学校にかける保護者や地域住民の方の思いが深ければ深いほど、それが失われた場合の寂しさや喪失感、御懸念は非常によく分かります。

しかし、それ以上に真剣に考えなければならないのはこどもたちの将来のことです。こどもたちが、これからの時代、これからの社会を生きる力を育むためにどのような教育環境が望ましいのかということです。

今、ここにありますこの二つのパネルですが、8月の市議会全員協議会で配られた資料です。教育委員会としての考え方を端的に伝える分かりやすいリーフレットになっていると思います。この8月の全員協議会では、実に10人もの議員が質疑を行い、見解を述べました。その中で、なぜこうしたリーフレットを保護者に配ることができないのか理解に苦しむとの指摘もありました。私も同じように感じました。この点について、教育委員会としてはどのように受け止めておられるのか伺います。

○議長（酒永光志君） 山井教育部長。

○教育部長（山井法男君） 現在の状況をどのように受け止めているかとの御質問です。

平成21年6月に統合検討委員会の第2次答申が示されました。能美中学校校舎の完成は平成25年9月です。その頃の反対運動はすさまじく、小中学校の保護者だけでなく地域を挙げての反対運動で、誰にどのように話しても、とにかく統合反対という状況でした。当時は、統合する気はないので説明会はいらない、話も聞く気はないというように、話合いの場さえも持てないような状況であったと聞いております。

その後、働きかけを進める中で、これから言います申合せといいますか、紳士協定といいますか、決め事のようなものがあります。書き物はありませんので私が把握している範囲で申し上げます。7点あります。

まず一つ目です。教育委員会側の連絡窓口は学校教育課長とし、地元側の連絡窓口は中学校のPTA会長とすること。二つ目、地元側窓口である中学校のPTA会長以外の者への直接的な連絡や働きかけはしてはならないこと。3、統合を前提とした説明会という名称は使わず、対話をイメージする懇話会という名称とすること。四つ目です。懇話会で配布する資料は事前に示し、地元の了解を得ること。五つ目、懇話会は保護者のみを参加対象にするのではなく、地元の一般住民を含む誰でも参加できるオープンなものとする。六つ目、保護者に対し、統合に係る資料やリーフレットを配布する場合は、配布物を事前に示し、配布する対象範囲も含め事前に了解を得ること。7、このような約束が破られた場合は今後、話合いに応じないこと。というような状況で現在に至

っております。

以上です。

○議長（酒永光志君） 上本議員。

○3番（上本雄一郎君） 今の御説明でいろいろなことが今、初めて理解できたように思います。

六つ目に、保護者に対し、統合に係る資料やリーフレットを配布する場合は、配布物を事前に示し、配布する対象範囲を含め事前に了解を得ることとのことですが、教育行政の推進を妨げるこのような要求が一体何に基づいてなされているのか。さらには、申合せの七つ目に、このような約束が破られた場合は、今後、話合いに応じないこと。こう続くわけですが、こういう申合せの存在すること自体がにわかに信じがたいことです。教育委員会の担当者にとっては大変な重圧だろうと思います。

確かに学校の統合を進めるには、立地する地域の理解を得たほうがよいと思います。しかしながら、当事者間で深刻な意見の対立が見られ、利害の調整が極めて難しい本件のような事案の場合に、時間を区切ることなく、いつまでも当事者の話合いに委ねるという方策が果たして適切かつ妥当なのかどうか、この点、疑問があります。第1次答申から18年、第2次答申からは14年半という歳月が流れました。このことを改めて指摘し、次の点へと移ります。

最後に、早急に統合するべきと思うが、どう考えているかについて答弁をいただきました。令和7年度の新入生の見込みが4名であり、全校生徒数が18名となることを見据え、できる限り早い時期に統合したいという教育委員会としての考え方は十分に理解できるものです。

これまで統合に反対する立場からこの問題に向き合い、努力を重ねられてきた三高地区の皆様には敬意を表するところです。皆様の地域にかける思いや情熱は、こどもたちをはじめとして地元の方々、これまで活動が続けてこられた先達、先輩諸氏にも伝わっていると確信するものです。

他方で、こどもたちの教育環境を守るという立場から、これまで地元との調整に当たられてきた教育委員会の努力にも敬意を表するところです。

学校教育法第2条は、学校は、国、地方公共団体及び私立学校法第3条に規定する学校法人のみがこれを設置することができると定めています。

三高中学校は、学校法人が設置した中学校ではなく、江田島市立の中学校です。我がまちの小中学校の設置者は江田島市です。明岳市長、江田島市のトップはあなたです。第1次答申から18年、第2次答申からは14年半という歳月が流れ、来年には市制施行20年という節目を迎えます。本件に対する市長としての覚悟が問われています。自らの政治信念に従い、覚悟を持って臨んでいただきたいと思います。

そして議員の皆さん、こどもたちが通う小中学校の教育環境としてどのような状態が望ましいのか、それについて議論するのは本来、議会の仕事です。今や決断するときです。人口減少や少子化、学校の小規模化という我がまちの厳しい現実、当事者間での厳しい話合いの状況、こうした複雑かつ難しい問題に今こそ向き合い、それぞれが自らの信念に従って自由闊達な議論を行おうではありませんか。議事を尽くすこと、このこと

こそが議会の使命であることを強調して、２項目８点にわたる私の質問を終わります。
御清聴ありがとうございました。

○議長（酒永光志君） 以上で、３番 上本議員の一般質問を終わります。

この際、暫時休憩いたします。１１時１０分まで休憩いたします。

（休憩 １０時５７分）

（再開 １１時１０分）

○議長（酒永光志君） 休憩前に引き続き、会議を開きます。

１３番 吉野伸康議員。

○１３番（吉野伸康君） 皆さん、おはようございます。政友会の吉野でございます。

傍聴者の皆さん、またインターネットで御覧いただいている皆様に厚くお礼を申し上げます。私が令和５年最後の質問者になりました。

通告によりまして、次世代に向けたまちづくりについて、一般質問をいたします。

江田島市は、平成１６年１１月１日に４町合併で江田島市となりました。「協働と交流で創りだす『恵み多き島』えたじま」を目指して１９年が経過しました。これまでに様々な課題に取り組んで来ましたが、まだまだ課題が多く残っているように思います。

現在の江田島市は、平成３０年豪雨災害以降、市民はようやくかつての生活を取り戻しつつあります。これからは、次世代に向けて、本市が将来にわたり安心・安全で活力ある元気なまちとして発展していくよう、必要な施策を効果的に取り組んでいく必要があると考えております。

こうした観点から、次の２点について質問を伺います。

１、人口減少、地域の活力低下が懸念される中、持続的に江田島市を発展させていくため、これまでどのようにまちづくりを進めてきたのか伺います。

２点目、持続可能なまちづくりに当たり、国においては、都市計画マスタープランと、その実行版となる立地適正化計画を策定し、その実現に向けて取り組むよう促しておりますが、本市の状況及び今後の方針についてを伺います。

以上２点、よろしくお願いいたします。

○議長（酒永光志君） 答弁を許します。

明岳市長。

○市長（明岳周作君） 吉野議員から、次世代に向けたまちづくりについて、２点の御質問をいただきました。順にお答えをさせていただきます。

まず１点目の、持続的に本市を発展させていくためにどのような都市づくりを進めてきたのかとのお尋ねでございます。

本市におきましては、平成１６年の合併以降、人口減少や少子高齢化の進む中で、第２次江田島市総合計画では、１０年後の目指す姿を「協働と交流で創りだす『恵み多き島』えたじま」を掲げており、この目指す姿を実現させるために市民満足度の高いまちづくり、未来を切り開くまちづくりの二つの柱に基づいた事業に取り組んでいるところでございます。

都市づくりにつきましては、総合計画に即して、江田島市都市計画マスタープランを策定し、持続可能なまちづくりを構築するため、拠点施設や拠点間のネットワークの整

備などを進めているところでございます。具体的な事業といたしましては、大柿市民センターやみたかゲートハウス、各地区の交流プラザなどの拠点施設を整備してまいりました。

また、拠点間のネットワークでは、国道４８７号小用バイパスや県道高田沖美江田島線高祖バイパスの供用開始、小用・中田・三高の各港におけるハード整備や交通結節点機能の強化による地域交通の充実を図り、まちづくりを進めてきたところでございます。

次に、２点目の持続可能なまちづくりに当たり、都市計画マスタープラン、立地適正化計画の策定状況及び今後の方針についてでございます。

都市計画マスタープランは、都市計画法第１８条の２第１項の規定により、市町村の都市計画に関する抜本的な方針を定めるものと定義をされており、まちの将来の姿を描く大切な計画となり、都市計画の具体的な実現に向けた方向性を示すものでございます。本市の都市計画マスタープランは、平成２３年３月に計画期間を１０年間として策定をし、令和２年度に目標年次を迎えました。

しかしながら、市のまちづくりの方向性に大きな変化がなく、令和６年度には、本市の最上位計画である第３次江田島市総合計画を策定することから、この総合計画の改定を基に計画間の整合性が図られるよう、この都市計画の計画期間を令和７年度まで５年間延伸をいたしました。

一方、立地適正化計画につきましては、都市再生特別措置法に基づき、特定の区域内に居住機能や医療、福祉、商業、公共交通などの様々な都市機能の誘導により、コンパクト・プラス・ネットワーク型の都市の実現に向けた市町が策定するアクションプランとなっております。

都市計画マスタープラン及び立地適正化計画は、都市計画における基本的な方針を定める点では共通をしておりますが、都市計画マスタープランは市の全体ビジョンを示す一方で、立地適正化計画は特定のエリアに立地を誘導する計画であり、性質の異なる目的を持った計画となります。

そのため、本市のまちづくりにおいて、地理的な特性や人口動態等を考慮しますと、現時点におきまして、立地適正化計画の策定が必要となる大規模な開発や都市化を想定していないことから都市計画によって対応は可能であると、現在のところ考えております。

以上でございます。

○議長（酒永光志君） 吉野議員。

○１３番（吉野伸康君） これまでのまちづくりについて、多くの労力と費用を投じて、国道４８７号の小用バイパス、県道高田沖美江田島線の高祖バイパスの完成など、本市の発展に欠かせない優良な資産を数多くつくっていただいたこと、特に用地を提供していただいた地権者の方々、事業に協力していただいた地域の皆様、市の職員の皆様、その他関係した全ての方々に感謝を申し上げる次第でございます。

そして、これらを基盤として、さらに便利で快適なまちづくりを進めていくことが我々に課された使命であると考えております。そうした観点から、特に地域の交流、産業を支える交通ネットワークの整備状況について質問いたします。

まず1点目は、道路整備状況についてであります。

本市には国道487号、区域を縦断していますが、現在改良中の国道事業はどのようなものがあるか、その概要と併せて伺います。

○議長（酒永光志君） 西川土木建築部長。

○土木建築部長（西川貴則君） 一般国道487号につきましては、中郷地区の道路改良事業と早瀬大橋の耐震対策事業がございます。いずれも県の事業でございまして、中郷地区では狭隘な御殿山隧道と中郷隧道を含めて総延長約1.5キロメートルの計画で、現在設計中であると伺っております。

また、早瀬大橋は、江田島市と本土をつなぐ唯一の陸上交通路であり、市民の日常生活を支えるとともに、緊急時の円滑な救命・救急活動を可能とする極めて重要な橋梁でございます。今年で供用開始50年を経過する当該橋梁について、橋梁補修、耐震補強の工事を実施中と伺っております。

これらの事業は、県における道路分野の実施計画であります広島県道路整備計画2021、これは令和3年度から7年度までの計画でございますけれども、こちらの計画に位置付け、事業進行中でございます。

以上でございます。

○議長（酒永光志君） 吉野議員。

○13番（吉野伸康君） 同様に、改良中の県道事業はどのようなものがあるのか。その概要と併せてお伺いいたします。

○議長（酒永光志君） 西川土木建築部長。

○土木建築部長（西川貴則君） 県道の事業としましては、主要地方道高田沖美江田島線の岡大王バイパス、それから、一般県道秋月飛渡瀬線の江南工区及び一般県道大君深江線の深江新開工区がございます。主要地方道高田沖美江田島線の岡大王バイパス及び一般県道秋月飛渡瀬線の江南工区は、いずれも県事業として事業を進めていただいているところであり、沖美町岡大王バイパスは、現在、測量設計中であり、秋月飛渡瀬線の江南地区は用地買収中であると伺っております。

また、本市が県から受託して事業を進めております一般県道大君深江線の深江新開工区では、現在用地買収に着手しております。これらの事業も、広島県道路整備計画2021に位置付け、事業進行中でございます。

以上でございます。

○議長（酒永光志君） 吉野議員。

○13番（吉野伸康君） 次に、安心・安全な道路づくりに向けて、国・県道における歩道整備が計画又は整備中と思いますが、どのようなものがあるのか、その概要を併せてお伺いいたします。

○議長（酒永光志君） 西川土木建築部長。

○土木建築部長（西川貴則君） 国道、県道における交通安全事業としましては、一般国道487号の中町地区と主要地方道江田島大柿線の大君地区及び飛渡瀬地区で計画がございます。

いずれも県の事業ですけれども、国道487号の中町地区は、能美町の中町駐在所付

近の歩道整備事業で、今年度から測量に着手していると伺っております。

主要地方道江田島大柿線の大君地区は、大君交差点付近の歩道を拡幅する事業で、今年度から測量に着手していると伺っており、同路線の飛渡瀬地区につきましては、飛渡瀬郵便局付近の歩道整備でございまして、現在、県と調整中でございます。

いずれの事業も広島県道路整備計画２０２１に位置付けられており、引き続き事業が円滑に進むよう県と協力して取り組んでまいります。

以上でございます。

○議長（酒永光志君） 吉野議員。

○１３番（吉野伸康君） これらが整備されれば、更に本市の地域内の移動が容易になり、利便性が向上するため、早期の整備を要望いたします。

２点目は、港湾整備状況についてです。

小用、切串、中町、三高の四つの港には定期航路があります。広島市や呉市と連絡され、本市民の重要な移動手段となっています。

そこでお聞きいたします。

これらの定期航路は、具体的にどことどの港を連絡しているのか。また、これらのうち、本市の各港の管理者は誰なのかお伺いいたします。

○議長（酒永光志君） 西川土木建築部長。

○土木建築部長（西川貴則君） 定期航路と港の管理者に対する御質問です。

まず、定期航路につきましては、全部で六つの航路がございます。小用港には、広島港から小用栈橋間と呉中央栈橋から小用栈橋間の航路、また、切串地区には、広島港から切串西沖栈橋間と、呉市天応栈橋から切串吹越栈橋間の航路がございます。そして、中田港には広島港から高田中町栈橋を連絡する航路が、また、三高港には、広島港から三高栈橋間の航路がございます。そして本市のこれらの港は、いずれも県が管理者でございます。

今後とも市民の重要な移動手段としてサービスを提供できるよう、引き続き県と連携しながら、適切な港の管理に努めてまいります。

以上でございます。

○議長（酒永光志君） 吉野議員。

○１３番（吉野伸康君） 本市には、小用、中田、三高、鹿川の県管理港湾がありますが、現在、計画又は整備中の事業はどのようなものがあるのか。その概要と併せてお伺いいたします。

○議長（酒永光志君） 西川土木建築部長。

○土木建築部長（西川貴則君） 令和３年度から７年度までの県の整備計画であります広島県港空港振興プラン２０２１及び広島海岸整備プラン２０２１に位置づけられている事業のうち、港湾事業としましては、三高港三高地区と鹿川港鎌木地区が、また海岸保全事業では、三高港海岸中ノ浜地区と鹿川港海岸大柿地区がございます。このうち、三高港三高地区はターミナル周辺の整備を、また、鹿川港鎌木地区は船だまり整備の設計に着手中と伺っております。

また、三高港海岸中ノ浜地区は高潮対策の設計を、鹿川港海岸大柿地区は、大柿町小

古江工区の高潮対策工事を進めていると伺っております。

これらの事業もまた、事業が円滑に進むよう県と協力して取り組んでまいります。

以上でございます。

○議長（酒永光志君） 吉野議員。

○13番（吉野伸康君） 今後とも便利で魅力的な港湾整備を実施していただき、重要な市民の移動手段として機能し続けることを要望いたします。

次に、3点目は、まちづくりの方針、指針となる都市計画マスタープランと立地適正化計画についてです。

先ほど市長答弁において、都市計画マスタープランも立地適正化計画も都市計画の方針を定める重要な計画である中、都市計画マスタープランは改定するが、現時点で立地適正化計画を作成するのは考えてないとの答えでした。これについて、まずその理由を伺います。

また、県内の都市計画区域を有する市町のうち、都市計画マスタープランと立地適正化計画それぞれの策定状況はどのようなになっているのかお伺いいたします。

○議長（酒永光志君） 西川土木建築部長。

○土木建築部長（西川貴則君） 都市づくり、まちづくりに関する計画策定の考え方と、県内他の市町における計画等の策定状況に関する御質問です。

まず、立地適正化計画は、ある特定の区域内へ居住機能や医療、福祉、商業、公共施設等の様々な都市機能を誘導することにより、人口減少下においても現状の都市的サービスを維持することを目的とする行動計画でございます。

しかしながら、本市は海と山に囲まれた地理的環境の中でコミュニティが形成されてきたことや、広域合併による市制施行後も一貫してコンパクトなまちづくりを進めてきていることから、現時点においては、立地誘導に係る行動計画を策定するのではなく、これまでと同様の都市計画を進めていく方向性であるということでございます。

次に、県内の都市計画マスタープランの策定状況としましては、まず、都市計画区域を有する県内20の市町がございまして、それら全てで策定されております。立地適正化計画につきましては、広島市、呉市、竹原市、三原市、福山市、府中市、庄原市、大竹市、東広島市、廿日市市、安芸高田市、そして海田町の12市町が策定済みでございます。また、尾道市、三次市、府中町、熊野町、世羅町の5市町が現在策定中で、江田島市、坂町、北広島町の3市町が未策定となっております。

以上でございます。

○議長（酒永光志君） 吉野議員。

○13番（吉野伸康君） 20市町ありまして、策定してないのが3市町でちょっと寂しい気がいたします。市長のほうもよく検討していただきたい、このように思います。

多くの市町が都市計画マスタープランに加えて国の推進する立地適正化計画を策定又は検討中ということではありますが、これを策定することで国から何らかの補助、支援金があるのかどうか、お伺いいたします。

○議長（酒永光志君） 西川土木建築部長。

○土木建築部長（西川貴則君） 立地適正化計画を策定することにより受けられる国

の支援としましては、都市構造再編集中支援事業というものがございます。この事業は、居住誘導区域内の道路や公園、下水道等の都市機能や居住環境の向上に資する公共公益施設の誘導、整備、防災力強化に対し集中的に支援が受けられるものとなっております。

以上でございます。

○議長（酒永光志君） 吉野議員。

○13番（吉野伸康君） 現在、国の有利な支援制度としてある合併特例債は約7割が交付税として措置されていると聞いておりますが、令和6年度までの時限措置となっております。これに対して、先ほどの立地適正化計画に関する支援制度はどのようなになっているのかお伺いします。

○議長（酒永光志君） 西川土木建築部長。

○土木建築部長（西川貴則君） 都市構造再編集中支援事業につきましては、50%の国費に加えまして、起債制度による交付税措置がありまして、これらを最大限活用しますと、合わせて最大63.5%の財政的な支援を見込むことができます。

以上でございます。

○議長（酒永光志君） 吉野議員。

○13番（吉野伸康君） 本市の厳しい財政状況を勘案すると、投資可能な社会資本は真に必要なものと考えます。そして、建設から相当の期間経過し、老朽化が進む社会資本の再整備も持続可能なまちづくりには不可欠であります。これらの社会資本の整備において、立地適正化計画を作成することで、有利な支援制度を活用し、市としての負担が軽減されるのであれば、ぜひ実施していただくようお願いを申し上げて、私の質問を終わります。

○議長（酒永光志君） 以上で、13番 吉野議員の一般質問を終わります。

日程第2 同意第13号

○議長（酒永光志君） 日程第2、同意第13号 公平委員会の委員の選任につき同意を求めることについてを議題といたします。

直ちに提出者から提案理由の説明を求めます。

明岳市長。

○市長（明岳周作君） ただいま上程されました同意第13号 公平委員会の委員の選任につき同意を求めることについてでございます。

令和5年12月15日で任期満了となる江田島市公平委員会の委員の砂堀正治さんを引き続き選任したいので、地方公務員法第9条の2第2項の規定により議会の同意を求めるものでございます。

砂堀さんは、人格が高潔で、地方自治の本旨及び民主的で能率的な事務の処理に理解があり、人事行政に関し識見を有する方でございます。御同意を賜りますよう何とぞよろしくお願いいたします。

○議長（酒永光志君） 以上で、提案理由の説明を終わります。

これより質疑を行います。

質疑はありませんか。

(「なし」の声あり)

質疑なしと認めます。

これをもって質疑を終結します。

本案は、こと人事に関することでありますので、討論を省略し、直ちに起立により採決を行います。

本案は、原案のとおり同意することに賛成の諸君の起立を求めます。

(賛成者起立)

起立多数です。

よって、本案はこれに同意することに決定しました。

日程第3 諮問第2号～日程第5 諮問第4号

○議長(酒永光志君) この際、日程第3、諮問第2号から日程第5、諮問第4号人権擁護委員候補者の推薦についての3案を一括議題とします。

直ちに提出者から提案理由の説明を求めます。

明岳市長。

○市長(明岳周作君) ただいま一括上程されました諮問第2号から諮問第4号までの人権擁護委員候補者の推薦についてでございます。

岡田紀代子さん、藤信敦子さん及び長坂知春さんをそれぞれ人権擁護委員の候補者として推薦をしたいので、人権擁護委員法第6条第3項の規定により議会の意見を求めるものでございます。

これらの方々は人格、識見が高く、広く社会の実情に通じ、人権擁護について理解のある方でございます。

以上、3件の諮問でございます。よろしくお願いいたします。

○議長(酒永光志君) 以上で、提案理由の説明を終わります。

これより本3案に対する一括質疑を行います。

質疑はありませんか。

(「なし」の声あり)

質疑なしと認めます。

これをもって質疑を終結します。

本3案は、こと人事に関することでありますので、討論を省略し、直ちに起立により採決に入ります。

初めに、諮問第2号についてお諮りします。

人権擁護委員候補者として岡田紀代子氏を適任とすることに賛成の諸君の起立を求めます。

(賛成者起立)

起立多数です。

よって、岡田紀代子氏を適任とすることに決定しました。

次に、諮問第３号についてお諮りします。

人権擁護委員候補者として藤信敦子氏を適任とすることに賛成の諸君の起立を求めます。

(賛成者起立)

起立多数です。

よって、藤信敦子氏を適任とすることに決定しました。

次に、諮問第４号についてお諮りします。

人権擁護委員候補者として長坂知春氏を適任とすることに賛成の諸君の起立を求めます。

(賛成者起立)

起立多数です。

よって、長坂知春氏を適任とすることに決定しました。

この際、暫時休憩いたします。１３時まで休憩いたします。

(休憩 １１時４２分)

(再開 １３時００分)

○議長（酒永光志君） 休憩前に引き続き、会議を開きます。

日程第６ 議案第６７号～日程第１０ 議案第７１号

○議長（酒永光志君） 日程第６、議案第６７号 江田島市一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例案についてから、日程第１０、議案第７１号 江田島市会計年度任用職員の給与、旅費及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例案についてまでの５案を一括議題とします。

直ちに提出者から提案理由の説明を求めます。

明岳市長。

○市長（明岳周作君） ただいま一括上程されました議案第６７号から議案第７１号までについてでございます。

国家公務員に準じて給与の改定等をするため、現行条例の一部を改正する必要がありますので、地方自治法第９６条第１項第１号の規定により議会の議決を求めるものでございます。

議案第６７号で江田島市一般職の職員の給与に関する条例を、議案第６８号で江田島市特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例を、議案第６９号で江田島市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例を、議案第７０号で江田島市一般職の任期付職員の採用等に関する条例を、議案第７１号で江田島市会計年度任用職員の給与、旅費及び費用弁償に関する条例を、それぞれ一部改正することとしております。

内容につきましては総務部長から説明をいたします。よろしくお願いいたします。

○議長（酒永光志君） 奥田総務部長。

○総務部長（奥田修三君） それでは、議案第６７号から第７１号まで一括して御説明いたします。

主な改正内容を参考資料により御説明いたしますので、20ページをお願いいたします。

国家公務員に準じた給与の改定等についてでございます。

1、趣旨については3点ございます。

1点目に、国家公務員に準じた給与の改定として、令和5年人事院勧告に基づく国家公務員の給与改定に準じて市職員等の給与を改定するため、関係条例の規定を整備するものです。

2点目に、会計年度任用職員への勤勉手当を支給として、地方自治法の一部改正等に伴い、令和6年度から会計年度任用職員に勤勉手当を支給するため関係条例の規定を整備するものです。

最後の3点目に、その他所要の規定の整理としまして、地方自治法の一部改正に伴う関係条例について字句の整理をするものでございます。

2、改正する条例です。このたび改正する条例は、表に示した五つの条例となります。

3、改正の内容です。

(1) 給与月額の上上げについてです。

アとして、若年層に重点を置き、民間企業における初任給の動向等を踏まえ、一般職の給与月額を1万2,000円から1,000円までの幅で引上げを行うものでございます。

イとして、特定任期付職員の給与月額を表のとおり国と同様に改定するものです。

次に、(2) 期末・勤勉手当（ボーナス）の引上げ（令和5年度分）についてです。民間の支給割合に見合うよう、常勤、一般職、再任用職員、特別職、市議会議員及び特定任期付職員について、令和5年度の期末・勤勉手当の支給月数を0.1月分または0.05月分引き上げるものです。

なお、6月期の期末・勤勉手当は既に支給済みであることから、令和5年度におきましては、今年度分の引き上げ分を12月期に上乗せして調整いたします。

(3) として、期末・勤勉手当の支給割合の平準化（令和6年度以降分）についてです。

次のページ、21ページをお願いします。

令和6年度以降の期末・勤勉手当の支給割合については、上段の表のとおり6月期と12月期で平準化いたします。

(4) 会計年度任用職員への勤勉手当の支給等についてです。

ア、支給の趣旨は、地方自治法の一部改正により、令和6年度から要件を満たす全ての会計年度任用職員に勤勉手当を支給できることとなりました。そのため、イに示しています支給の要件等を満たす会計年度任用職員に勤勉手当を支給するものでございます。支給要件等は、令和6年度以降で任期が6か月以上、かつ週の勤務時間が20時間を超えることとしております。また、支給割合については下の表に示したとおり常勤の一般職、正規職員と同様となっております。

(5) その他所要の規定の整理についてです。

地方自治法第204条第2項において、職員等に支給することができるものとして列

記されている手当のうち、新型インフルエンザ等緊急事態派遣手当の名称が特定新型インフルエンザ等対策派遣手当に改められたことから字句の整理を行うものでございます。

4、施行期日及び実施時期についてです。

改正内容ごとに表に示しているとおり施行し、給料月額及び期末勤勉手当の引上げに係るものは遡及して実施いたします。

なお、会計年度任用職員につきましては、年度ごとの任用であることを踏まえ、給料月額の引上げは令和6年4月1日からいたします。

それでは、それぞれの議案の改正条文の御説明をいたしますので、13ページをお願いいたします。

議案第67号の一般職につきましての改正条文です。

第1条で、一般職の給料表を14ページから15ページの別表のとおり改正し、令和5年度の期末・勤勉手当の引上げ等を行っております。

16ページをお願いします。

第2条で、令和6年度以降の期末・勤勉手当の支給割合の調整をしております。また附則といたしまして、施行期日等と給与の内払いのみなし規定を定めております。

17ページから19ページには新旧対照表を添付しております。

続きまして、23ページをお願いします。

議案第68号の特別職についての改正条文です。

第1条で、令和5年度の期末手当の引上げ、第2条で、令和6年度以降の期末手当の支給割合の調整をしております。また、附則といたしまして、施行期日等と期末手当の内払いのみなし規定を定めております。

24ページには新旧対照表を添付しております。

続きまして、26ページをお願いします。

議案第69号の市議会議員についての改正条文です。

第1条で、令和5年度の期末手当の引上げ、第2条で、令和6年度以降の期末手当の支給割合の調整をしております。また、附則としまして、施行期日等と期末手当の内払いのみなし規定を定めております。

27ページには新旧対照表を添付しております。

続いて、29ページをお願いします。

議案第70号、任期付職員についての改正条文です。

第1条で、給料表の改正と令和5年度の期末手当の引上げ、第2条で、令和6年度以降の期末手当の支給割合の調整をしております。また、附則としまして施行期日等と給与の内払いのみなし規定を定めております。

30、31ページには新旧対照表を添付しております。

続きまして、33ページをお願いします。

議案第71号の会計年度任用職員についての改正条文です。

会計年度任用職員に勤勉手当を支給することとし、支給割合については、期末・勤勉手当ともに常勤の一般職の職員と同様にするものでございます。また、附則といたしまして施行期日を定めており、34ページには新旧対照表を添付しております。

議案の説明につきましては以上でございます。

○議長（酒永光志君） 以上で、提案理由の説明を終わります。

これより質疑を行います。

本５案に対する質疑はありませんか。

（「なし」の声あり）

質疑なしと認めます。

これをもって質疑を終結します。

本案は、会議規則第３７条第３項の規定により、委員会付託を省略したいと思います。

これに御異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

御異議なしと認めます。

よって、本案は委員会付託を省略します。

これより討論を行います。

討論はありませんか。

（「なし」の声あり）

討論なしと認めます。

これをもって討論を終結します。

これより直ちに採決を行います。

初めに、議案第６７号 江田島市一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例案について、原案のとおり決定することに賛成の諸君の起立を求めます。

（賛成者起立）

起立多数です。

よって、本案は原案のとおり可決されました。

次に、議案第６８号 江田島市特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例案について、原案のとおり決定することに賛成の諸君の起立を求めます。

（賛成者起立）

起立多数です。

よって、本案は原案のとおり可決されました。

次に、議案第６９号 江田島市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例案について、原案のとおり決定することに賛成の諸君の起立を求めます。

（賛成者起立）

起立多数です。

よって、本案は原案のとおり可決されました。

次に、議案第７０号 江田島市一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部を改正する条例案について、原案のとおり決定することに賛成の諸君の起立を求めます。

（賛成者起立）

起立多数です。

よって、本案は原案のとおり可決されました。

次に、議案第 7 1 号 江田島市会計年度任用職員の給与、旅費及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例案について、原案のとおり決定することに賛成の諸君の起立を求めます。

(賛成者起立)

起立多数です。

よって、本案は原案のとおり可決されました。

日程第 1 1 議案第 7 2 号

○議長（酒永光志君） 日程第 1 1、議案第 7 2 号 江田島市特別会計条例の一部を改正する条例案についてを議題とします。

直ちに提出者から提案理由の説明を求めます。

明岳市長。

○市長（明岳周作君） ただいま上程されました議案第 7 2 号 江田島市特別会計条例の一部を改正する条例案についてでございます。

住宅新築資金等貸付事業特別会計を廃止するため、現行条例の一部を改正する必要がありますので、地方自治法第 9 6 条第 1 項第 1 号の規定により議会の議決を求めるものでございます。

内容につきましては総務部長から説明をいたします。よろしくお願いいたします。

○議長（酒永光志君） 奥田総務部長。

○総務部長（奥田修三君） それでは、議案第 7 2 号につきまして御説明いたします。

議案書 3 7 ページに改正条文、3 8 ページに参考資料として新旧対照表をお示ししております。

参考資料により御説明いたしますので 3 8 ページをお願いいたします。

新旧対照表となります。右の欄に現行条例を、左の欄に改正案をお示ししております。

このたび改正する内容は、江田島市特別会計条例の設置に関し、第 1 条中（1）江田島市住宅新築資金等貸付事業特別会計の項を削り、以下の項を繰り上げるものです。

現在、この特別会計における住宅新築資金等貸付事業は、滞納繰越分の収納管理のみとなっており、事務の効率化の観点から特別会計を廃止し、債権を一般会計に引き継ぐものです。

3 7 ページにお戻りください。

附則として、1、施行期日として、この条例は令和 6 年 4 月 1 日から施行します。

2、経過措置として、この条例による改正前の江田島市特別会計条例に基づく江田島市住宅新築資金等貸付事業特別会計に係る令和 5 年度の出納整理及び決算の事務については、なお従前の例によります。

3、この条例の施行の際、江田島市住宅新築資金等貸付事業特別会計に属する剰余金、債権、債務及び財産は、江田島市一般会計に帰属するものとします。

説明につきましては以上でございます。

○議長（酒永光志君） 以上で、提案理由の説明を終わります。

これより質疑を行います。

質疑はありませんか。

（「なし」の声あり）

質疑なしと認めます。

これをもって質疑を終結します。

本案は、会議規則第37条第3項の規定により、委員会付託を省略したいと思います。

これに御異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

御異議なしと認めます。

よって、本案は委員会付託を省略します。

これより討論を行います。

討論はありませんか。

（「なし」の声あり）

討論なしと認めます。

これをもって討論を終結します。

これより直ちに採決を行います。

本案は、原案のとおり決定することに賛成の諸君の起立を求めます。

（賛成者起立）

起立多数です。

よって、本案は原案のとおり可決されました。

日程第12 議案第73号

○議長（酒永光志君） 日程第12、議案第73号 江田島市国民健康保険税条例の一部を改正する条例案についてを議題とします。

直ちに提出者から提案理由の説明を求めます。

明岳市長。

○市長（明岳周作君） ただいま上程されました議案第73号 江田島市国民健康保険税条例の一部を改正する条例案についてでございます。

産前産後期間における国民健康保険税の減額措置を行うため、現行条例の一部を改正する必要がありますので、地方自治法第96条第1項第1号の規定により、議会の議決を求めるものでございます。

内容につきましては市民生活部長から説明をいたします。よろしくお願いいたします。

○議長（酒永光志君） 江郷市民生活部長。

○市民生活部長（江郷壱行君） それでは議案第73号について説明します。

議案書40ページから42ページに改正条文、43ページから45ページに新旧対照表、46ページに参考資料として説明資料を添付しております。

46ページの参考資料により、改正内容について説明します。

1、改正の趣旨について。

出産する予定の国民健康保険の被保険者又は出産した国民健康保険の被保険者に係る国民健康保険税の減額措置を行うため、江田島市国民健康保険税条例の一部を改正するものです。

2、改正の内容について。

(1) 国民健康保険税の減額措置の導入。

ア、趣旨。子育て世帯の負担を軽減することで、次世代の育成を支援するため、出産被保険者の国民健康保険税の所得割額及び被保険者均等割額を減額する。

イ、対象者。令和5年11月1日以後に出産し、又は出産する予定の国民健康保険の被保険者。

ウ、軽減期間。次に掲げる期間のうち令和6年1月以降の期間。

(ア) 単胎妊婦の場合、出産日が属する月の前月から4か月間。

(イ) 多胎妊婦の場合、出産日が属する月の3か月前から6か月間。

エ、軽減額。ウの軽減期間のうち、当該年度に属する期間の月数に、次に掲げる額をそれぞれ乗じて得た額の合計額を減額する。

(ア) 所得割額。出産被保険者の基礎控除後の総所得金額等に所得割保険料率を乗じて得た額の12分の1の額。

(イ) 被保険者均等割額。出産被保険者の被保険者均等割額の12分の1の額。

(2) 出産被保険者に係る届出。(1)の減額措置を受けようとする納税義務者は、市長が当該減額措置に必要な事項を確認できる場合を除き、市長に必要な事項を届け出ることとする。

3、施行期日について。施行期日は令和6年1月1日とします。

以上で、説明を終わります。

○議長(酒永光志君) 以上で、提案理由の説明を終わります。

これより質疑を行います。

質疑はありませんか。

(「なし」の声あり)

質疑なしと認めます。

これをもって質疑を終結します。

本案は、会議規則第37条第3項の規定により、委員会付託を省略したいと思います。

これに御異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

御異議なしと認めます。

よって、本案は委員会付託を省略します。

これより討論を行います。

討論はありませんか。

(「なし」の声あり)

討論なしと認めます。

これをもって討論を終結します。

これより直ちに採決を行います。

本案は、原案のとおり決定することに賛成の諸君の起立を求めます。

(賛成者起立)

起立多数です。

よって、本案は原案のとおり可決されました。

日程第 13 議案第 74 号

○議長（酒永光志君） 日程第 13、議案第 74 号 江田島市乳幼児等医療費支給条例の一部を改正する条例案についてを議題とします。

直ちに提出者から提案理由の説明を求めます。

明岳市長。

○市長（明岳周作君） ただいま上程されました議案第 74 号 江田島市乳幼児等医療費条例の一部を改正する条例案についてでございます。

乳幼児等の入院、通院に係る医療に要する費用の支給について、支給対象者の年齢を引き上げるとともに所得制限を撤廃するため、現行条例の一部を改正する必要がありますので、地方自治法第 96 条第 1 項第 1 号の規定により議会の議決を求めるものでございます。

内容につきましては福祉保健部長から説明をいたします。よろしくお願いいたします。

○議長（酒永光志君） 仁城福祉保健部長。

○福祉保健部長（仁城靖雄君） それでは議案第 74 号につきまして御説明をいたします。

議案書 48 ページ、49 ページに改正条文を、50 ページから 53 ページに新旧対照表を、54 ページに参考資料を添付しております。

参考資料によりまして御説明をいたしますので 54 ページをお願いいたします。

1、改正の趣旨でございます。

国では少子化対策、子ども・子育て支援加速化プランによりまして、児童手当の高校生世代までの延長や所得制限の撤廃等の実施が進められております。本市におきましても、子育て世帯に対しまして経済的負担を軽減し、安心して医療を受けられる環境を整備することで、子育てしやすい環境づくりを推進するために、乳幼児等医療費の支給対象者を拡充するものでございます。

2、改正の内容でございます。

(1) 支給対象年齢の引上げ及び所得制限の撤廃でございます。

現在、入院、通院医療による支給対象となっております満 15 歳に達する日以降の最初の 3 月 31 日から満 18 歳に達する日以降の最初の 3 月 31 日へ引上げをするものでございます。また、所得制限については撤廃をいたします。

(2) 題名の改正でございます。

医療費の支給対象年齢を引き上げることに伴いまして、条例名を江田島市こども医療費支給条例に改めるものでございます。

3の財政負担見込額でございます。

今回の拡充部分の必要な財政負担額は990万円を見込んでおります。

最後に4、施行期日は令和6年4月1日でございます。

説明につきましては以上でございます。

○議長（酒永光志君） 以上で、提案理由の説明を終わります。

これより質疑を行います。

質疑はありませんか。

（「なし」の声あり）

質疑なしと認めます。

これをもって質疑を終結します。

本案は、会議規則第37条第3項の規定により、委員会付託を省略したいと思います。

これに御異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

異議なしと認めます。

よって、本案は委員会付託を省略します。

これより討論を行います。

討論はありませんか。

（「なし」の声あり）

討論なしと認めます。

これをもって討論を終結します。

これより直ちに採決を行います。

本案は、原案のとおり決定することに賛成の諸君の起立を求めます。

（賛成者起立）

起立多数です。

よって、本案は原案のとおり可決されました。

日程第14 議案第75号

○議長（酒永光志君） 日程第14、議案第75号 江田島市空家等対策条例の一部を改正する条例案についてを議題とします。

直ちに提出者から提案理由の説明を求めます。

明岳市長。

○市長（明岳周作君） ただいま上程されました議案第75号 江田島市空家等対策条例の一部を改正する条例案についてでございます。

空家等対策の推進に関する特別措置法の一部改正に伴い、現行条例の一部を改正する必要がありますので、地方自治法第96条第1項第1号の規定により議会の議決を求めるものでございます。

内容につきましては土木建築部長から説明をいたします。よろしくお願いいたします。

○議長（酒永光志君） 西川土木建築部長。

○土木建築部長（西川貴則君） それでは、議案第 75 号について御説明いたします。

議案書 56 ページに改正条文を、57 ページに新旧対照表を添付しております。

新旧対照表により御説明いたしますので、57 ページをお願いいたします。

右の欄が現行条例、左の欄が改正案でございます。改正いたします部分につきましては下線部分でございます。

空家等対策の推進に関する特別措置法の一部を改正する法律が本日から施行されました。法律では、空家等の所有者等の責務強化のほか、空家等の管理の確保や活用方法、特定空家の除却等について新たな条項が追加されております。法律の改正による新たな条項の追加に伴い、当該条例につきまして引用条項の整理をするため改正するものでございます。

56 ページをお願いいたします。

附則でございます。施行の期日は公布の日としております。

説明につきましては以上でございます。

○議長（酒永光志君） 以上で、提案理由の説明を終わります。

これより質疑を行います。

質疑はありませんか。

（「なし」の声あり）

質疑なしと認めます。

これをもって質疑を終結します。

本案は、会議規則第 37 条第 3 項の規定により、委員会付託を省略したいと思います。これに御異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

御異議なしと認めます。

よって、本案は委員会付託を省略します。

これより討論を行います。

討論はありませんか。

（「なし」の声あり）

討論なしと認めます。

これをもって討論を終結します。

これより直ちに採決を行います。

本案は、原案のとおり決定することに賛成の諸君の起立を求めます。

（賛成者起立）

起立多数です。

よって、本案は原案のとおり可決されました。

日程第 15 議案第 76 号

○議長（酒永光志君） 日程第 15、議案第 76 号 江田島市老人福祉センター設置及び管理条例を廃止する条例案についてを議題とします。

直ちに提出者から提案理由の説明を求めます。

明岳市長。

○市長（明岳周作君）　ただいま上程されました議案第76号　江田島市老人福祉センター設置及び管理条例を廃止する条例案についてでございます。

大柿老人福祉センターを廃止するため、現行条例を廃止する必要がありますので、地方自治法第96条第1項第1号の規定により議会の議決を求めるものでございます。

内容につきましては福祉保健部長から説明をいたします。よろしく願いいたします。

○議長（酒永光志君）　仁城福祉保健部長。

○福祉保健部長（仁城靖雄君）　それでは議案第76号につきまして御説明をいたします。

議案書59ページに廃止条文を添付しております。この条例に規定しております老人福祉センターは大柿老人福祉センター1か所のみでございます。

この大柿老人福祉センターは、昭和61年に建築されており約37年が経過しております。そのため設備等の老朽化が進んでおり、今後、維持管理が難しくなっていることが、そういった状況でございます。

また、近隣には大柿市民センターが供用開始され、地域の集会所としての役割もなくなったことから、このたび廃止をするものでございます。

附則といたしまして、令和6年4月1日から施行するものでございます。

説明につきましては以上でございます。

○議長（酒永光志君）　以上で、提案理由の説明を終わります。

これより質疑を行います。

質疑はありませんか。

上本議員。

○3番（上本雄一郎君）　御説明いただきました件につきましては、行政財産から普通財産に移るということで理解をしておるところでございます。しかし、同じ建物の中に、一つの建物の中にですね、隣に、2階には灘尾弘吉先生の記念館があり、1階には大柿地区歴史資料館があります。それらについてはどうなるのかなってというのがもう一つ見えない部分があります。何らかの見通しを持っておられるのならば御説明いただきたいと思います。

○議長（酒永光志君）　山井教育部長。

○教育部長（山井法男君）　このたび老人福祉センターを廃止するわけですが、建物はおっしゃったように一体になってます。建物を壊すわけじゃなくて、老人福祉センターという行政施設を供用廃止するというので、こちらにあります1階が歴史資料館、2階が灘尾記念文庫、これについては引き続き教育委員会として設置、運営管理してまわすけれども、引き続き供用を続けていく予定としております。

以上です。

○議長（酒永光志君）　ほかに質疑はありませんか。

（「なし」の声あり）

質疑なしと認めます。

これをもって質疑を終結します。

本案は、会議規則第37条第3項の規定により、委員会付託を省略したいと思います。
これに御異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

御異議なしと認めます。

よって、本案は委員会付託を省略します。

これより討論を行います。

討論はありませんか。

（「なし」の声あり）

討論なしと認めます。

これをもって討論を終結します。

これより直ちに採決を行います。

本案は、原案のとおり決定することに賛成の諸君の起立を求めます。

（賛成者起立）

起立多数です。

よって、本案は原案のとおり可決されました。

日程第16 議案第77号

○議長（酒永光志君） 日程第16、議案第77号 （仮称）柿浦交流プラザ新築工事（建築）請負契約の締結についてを議題とします。

直ちに提出者から提案理由の説明を求めます。

明岳市長。

○市長（明岳周作君） ただいま上程されました議案第77号 （仮称）柿浦交流プラザ新築工事（建築）請負契約の締結についてでございます。

（仮称）柿浦交流プラザ新築工事（建築）請負契約を2億6,591万4,000円で古澤建設工業株式会社と締結したいので、地方自治法第96条第1項第5号及び江田島市議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例第2条の規定により議会の議決を求めるものでございます。

内容につきましては総務部長から説明をいたします。よろしくお願いいたします。

○議長（酒永光志君） 奥田総務部長。

○総務部長（奥田修三君） それでは議案第77号について御説明いたします。

議案書の60ページをお願いします。

1、契約の目的は、（仮称）柿浦交流プラザ新築工事（建築）請負契約です。

2、契約の方法は、指名競争入札によるものです。

3、契約金額は2億6,591万4,000円で、うち消費税額及び地方消費税額は2,417万4,000円です。

4、契約の相手方は、江田島市大柿町小古江1982番地2、古澤建設工業株式会社です。

５、工期は議会の議決を得た日の翌日から令和６年１２月１９日までです。

次に、６５ページをお願いします。

入札状況についてです。御説明します。

入札は、令和５年１０月２６日木曜日午前１０時から、江田島市役所本庁４階会議室において執行いたしました。

入札参加指名業者は２３社で、そのうち入札辞退届を提出した１８社、当日欠席した１社を除く４社で執行いたしました。

入札状況につきましては表に示すとおりです。

なお、本入札は予定価格を事前公表しております。予定価格は税抜き２億９，２００万４，０００円です。

落札額は、税抜き２億４，１７４万円で、落札率は８２．７９％です。

なお、工事の概要等につきましては、６１ページに工事概要書、６２ページから６４ページに平面図等を添付しております。

議案の説明につきましては以上でございます。

○議長（酒永光志君） 以上で、提案理由の説明を終わります。

これより質疑を行います。

質疑はありませんか。

算本議員。

○２番（算本 語君） ６１ページの工事概要の１から４までの項目があるんですけど、大体のこの内訳が分かれば教えていただきたいんですけど。

○議長（酒永光志君） 西川土木建築部長。

○土木建築部長（西川貴則君） すみません。ちょっと今、手元に細かい資料を持ち合わせておりませんので、ちょっと別の機会でお答えさせていただければと思います。申し訳ございません。

○議長（酒永光志君） ほかに質疑ありませんか。

平川議員。

○９番（平川博之君） ちょっと一つ。これ今から建築されるんですが、交流プラザということで、柿浦地区の皆さんが気持ちよく使っていただくためにしっかり取り組んでもらいたいところなんですが、建築前から、交流プラザということで地域活性化ということなんですけど、ある利益を得る団体が入って使用するとかいうてから、そこに住んでる方とかが心配されてるんですね。使用ができなくなるんじゃないかという、そういった話し合い等はしっかり、行政のほうにも話行っと思うんですけど、話し合いをちゃんとできとるんか、そこだけちょっとお尋ねさせてください。

○議長（酒永光志君） 奥田総務部長。

○総務部長（奥田修三君） 本プラザにつきましては、公共施設の在り方に関する基本計画に基づいて実施しているものです。当然に地域の方と話し合いを進めながら今計画はつくられております。

今、議員おっしゃられました、ある特定の利益団体が使われるのではないかということなんですけど、そういったことはなくて、地域のまちづくりとして進める事業について

話を進めた上で計画、平面図等を作成しておりますので、一民間企業の利益団体が入るというようなことはございません。

以上です。

○議長（酒永光志君） 平川議員。

○9番（平川博之君） まちづくりいうことでよく分かるんですけど、使用するところは範囲も決まっとることで、多目的じゃけんいろんな方が気持ちよく使っていただけるように、誤解のないようにしっかり話し合いをそういったところもしていただいて使用するようになり図っていただけたらと思うんで、今後も注意しながらお願いしたいと思います。

○議長（酒永光志君） ほかに質疑ありませんか。

古居議員。

○6番（古居俊彦君） 2点ございます。バス停について、これは北側に柿浦浜と南側に柿浦港があると思うんですけども、新しく新設されるのでしょうか。

それともう1点、この市道柿浦18号線がメインの進入路になると思うんですけども、こちらは県道の44号線のほうと交差点協議のほうはどういうふうになってるのでしょうか、お答え願います。

○議長（酒永光志君） 畑河内企画部長。

○企画部長（畑河内真君） 私のほうからバス停についてお答えします。

バス停については、新設ではなくて既存のバス停をちょっと移設するという形になります。

以上です。

○議長（酒永光志君） 奥田総務部長。

○総務部長（奥田修三君） 本計画を実施する際に、バス停の移設も含めてなんですが、当然に道路改良含まれますので警察協議等は済ませております。

以上でございます。

○議長（酒永光志君） 西川土木建築部長。

○土木建築部長（西川貴則君） 市道と県道との交差点といいますか、接道関係でございすけれども、これは県のほうとも協議はしております。

それから、市道としましては、4.5メートル以上の必要幅員を確保するという視点の下、あとは出入口等がございますので、それらも含めて県道管理者とは協議を済ませております。

以上でございます。

○議長（酒永光志君） ほかに質疑はありませんか。

上本議員。

○3番（上本雄一郎君） 二つございます。

一つは、この建物の北側の部分が運動場だったわけですが、これは図面でいうとどの程度まで舗装、アスファルトを張ろうとしているのかということが伺いたいのが1点と、もう一つは、運動場の端っこにオリーブの木があったわけですが、既に移設されております。市のオリーブ園も海側にあるわけで、あそこに大きなシンボルとなるオ

リーブの木があったほうがよかったんじゃないのかなとか個人的には感じておりますけども、地元との協議を経られた上で移し替えようというようなことになったのだと想像しますが、その辺の詳しい経緯を教えてください。

○議長（酒永光志君） 奥田総務部長。

○総務部長（奥田修三君） まず1点目の舗装の範囲なんですけど、北側の、これにつきましてはちょっと調べて、あと土木建築部長からお答えさせていただきます。

オリーブの木なんですけど、これは地元と協議を進める中で、運動場でソフトボールされる方があって、当然オリーブの管理ですね、実ができれば取らなきゃいけない、そういったことがあって、これは町のシンボルとしてみんなの目につくところへ移設してもらって、地域で見守りながら育てていこうというような趣旨で移設させてもらいました。併せて、看板等あって、このオリーブの木の由縁を記載しておりますので、ぜひ見ていただければと思います。よろしくお願いします。

○議長（酒永光志君） 西川土木建築部長。

○土木建築部長（西川貴則君） 建物北側の舗装という部分なんですけれども、62ページの平面図でございます。建物に沿って、ちょっとはしごのような形があると思うんですけれども、建物に沿ったはしごのような形でところどころ四角がある。こちらが側溝になるんですけれども、そこから北側については、基本的には土、つまり建物の北側はほとんど土ということになります。ただし、東側から進入する部分がございます、その部分が、道路に接している部分で台形状にちょっと図面として書かれている部分があると思うんですけれども、この台形状の部分についてはコンクリートの形で、たたきといいますか舗装を加えるということになっております。

以上でございます。

○議長（酒永光志君） 上本議員。

○3番（上本雄一郎君） すみません、もう一つ駐車スペースの関係でお伺いします。

この62ページの図面でいうと南側の右下の部分ですね。そして建物西側に2台ほど駐車場所が確保されているように思いますが、この西側の2台の駐車場についてはこの県道から進入するんだと思うんですが、南側の駐車場への進入口がどこに設けられるんかということと、建物のエントランスというのが西側と南側にあるような図面になっております、63ページで確認いたしますと。通常メインで使うエントランスはいつも開けておいて、何か個別の大きな行事があるときにもう一方を開けるような格好になるのかなと想像するんですが、メインの入り口っていうのはどちら側になるのか教えてください。

○議長（酒永光志君） 西川土木建築部長。

○土木建築部長（西川貴則君） メインの出入口というのは、やはり建物西側ということにはなります。ただし、建物南側にも入り口を設けておりまして、特に西側の駐車場、台数の多い側の駐車場を利用される方というのはこちらから、こちらというのは南側のエントランスから建物を利用していただくということになります。

以上でございます。

○議長（酒永光志君） 西川土木建築部長。

○土木建築部長（西川貴則君） 失礼しました。南側駐車場への入り口でございます。南側駐車場への入り口は、議案６２ページのちょうど一番、市道がですね、南側、すみません、北から南に向けて東側に折れている角のところから入っていくような感じになります。ちょうど角に隅切りがしてあるところがあるんですけども、まさに隅切りの北隣のところからも入っていくというような状況になります。よろしくお願いします。

○議長（酒永光志君） ほかに質疑はありますか。

（「なし」の声あり）

質疑なしと認めます。

これをもって質疑を終結します。

本案は、会議規則第３７条第３項の規定により、委員会付託を省略したいと思います。これに御異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

御異議なしと認めます。

よって、本案は委員会付託を省略します。

これより討論を行います。

討論はありませんか。

（「なし」の声あり）

討論なしと認めます。

これをもって討論を終結します。

これより直ちに採決を行います。

本案は、原案のとおり決定することに賛成の諸君の起立を求めます。

（賛成者起立）

起立多数です。

よって、本案は原案のとおり可決されました。

日程第１７ 議案第７８号

○議長（酒永光志君） 日程第１７、議案第７８号 公の施設の指定管理者の指定についてを議題とします。

直ちに提出者から提案理由の説明を求めます。

明岳市長。

○市長（明岳周作君） ただいま上程されました議案第７８号 公の施設の指定管理者の指定についてでございます。

江田島市海辺の新鮮市場について、株式会社江田島荘を指定管理者として指定したいので、地方自治法第２４４条の２第６項の規定により議会の議決を求めるものでございます。

内容につきましては産業部長から説明をいたします。よろしくお願いいたします。

○議長（酒永光志君） 高橋産業部長。

○産業部長（高橋龍二君） それでは、議案第７８号 公の施設の指定管理者の指定

について御説明申し上げます。

議案書 67 ページ、68 ページの参考資料で説明をさせていただきます。

67 ページを御覧ください。

1、公の施設の名称。江田島市海辺の新鮮市場。

2、公の施設の概要。所在地、江田島市江田島町江南 1 丁目 1 番 37 号。

根拠条例は、江田島市地域産物展示販売施設設置及び管理条例でございます。

設置年は、平成 11 年。

設置目的は、特産物の販売等を行うことにより地域の振興を図ることでございます。

設規模等は、鉄骨造り 2 階建てで記載の面積となっております。

3、指定団体の概要につきまして、団体名は株式会社江田島荘。

所在地は江田島市能美町中町 4718 番地。

江田島荘の設立年月日は令和 3 年 4 月 1 日。

事業目的は記載のとおりです。

4 番、指定管理者の業務の範囲につきまして、（1）施設の維持管理及び修繕に関する業務。（2）施設の利用に関する業務。（3）利用料金の収受に関する業務。

続きまして、68 ページでございます。

（4）次の事業に関する業務として、ア、市の特産物の展示販売等の観光振興事業、イ、地域住民の交流活動の場の提供、ウ、ア及びイに掲げるもののほか必要な業務となっております。その他、（5）で附随する業務ということで規定しております。

指定の期間は、令和 6 年 4 月 1 日から令和 11 年 3 月 31 日までの 5 年間としております。

6、選定の理由につきましては、江田島市指定管理者選定委員会において、申込者からの申請書等に基づきヒアリングを実施し、あらかじめ定めました評価項目ごとの総合点数評価方式により採点を行った結果、配点合計の 6 割以上かつ安定的に運営できる提案であったことから選定いたしました。

7 番、指定管理料につきましては、トイレ等の維持管理に係る部分で、提案者から提案がありました年 144 万円を想定しております。

説明につきましては以上です。

○議長（酒永光志君） 以上で、提案理由の説明を終わります。

これより質疑を行います。

質疑はありませんか。

岡野議員。

○8 番（岡野数正君） 67 ページの 4 の指定管理者の業務の範囲。（1）施設の維持管理及び修繕に関する業務というのがあります。修繕に関する業務について、どの程度の修繕をお考えなのか。多分いろんなレベルがあるだろうと思うんですね。建物の持ち主は江田島市になるわけですから、どういったお考えがあるのか。その点について伺いいたします。

○議長（酒永光志君） 高橋産業部長。

○産業部長（高橋龍二君） こちらの指定管理に伴う修繕等の取決めにつきましては、

設置根拠の条例に基づき指定管理者と基本協定というのを議決後に締結させていただきます。その際にそれぞれの施設の役割分担ということで定義する予定でございますが、基本的な設備ですね、電気とかエアコンとか水道とかインフラとか、基本的な建物の構造に係る施設の維持補修は市、中の内装とかいわゆる什器とか、そうした中の造作品等に係る軽微なものにつきましては指定管理者ということで、それぞれの役割を定義して基本協定を締結するということになっております。

以上です。

○議長（酒永光志君） 岡野議員。

○8番（岡野数正君） ちなみにトイレはどういうふうに考えますか。

○議長（酒永光志君） 高橋産業部長。

○産業部長（高橋龍二君） トイレにつきましては、指定管理者の管理の範疇になります。中の設備とかに関しましては、インフラとしては市の修繕ということになります。あくまでも管理するところが指定管理者の役割でございます。

○議長（酒永光志君） 岡野議員。

○8番（岡野数正君） これ多分補正に上がってますからね。そこらのこともよく考えて御答弁をいただければと思います。

以上です。

○議長（酒永光志君） ほかに質疑はありませんか。

上本議員。

○3番（上本雄一郎君） 指定管理の期間についてお尋ねします。急遽、年度途中で前の方が運営を断念されてこういうことになっておるわけですが、例えばサイクリストの方が増えてくるのが暖かくなってからだと思います。3月とかですね、そういった形での指定期間いうのも考えられたんかなと思うんですが、年度で区切られて来年度からということになっております。この辺りの期間の区切り方について、どういう検討されてきたのか教えてください。

○議長（酒永光志君） 高橋産業部長。

○産業部長（高橋龍二君） 私どもとしましても早く再開するところを目指しておりましたが、1年を結果的に要する結果となりました。その経過でございますが、今年の3月に指定期間1年を残した時点で、急遽、前指定管理者からの取消しの申入れがありまして、そこから各漁協へ再度指定管理の引き受けを打診したり、あとの施設が水産庁の施設で、国に指定管理の方法について協議をする必要がありまして、その協議が整うのに2か月程度やはり要しました。その後、公募ということで、手続を踏まえて公募の期間、審査等を大体4か月程度、それから本議会に審査して提案させていただいて、さらにこれから一部改修等、その準備ということで3月まで要するということで、都合1年間を要する結果となりました。

以上です。

○議長（酒永光志君） ほかに質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

質疑なしと認めます。

これをもって質疑を終結します。

本案は、会議規則第37条第3項の規定により、委員会付託を省略したいと思います。
これに御異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

御異議なしと認めます。

よって、本案は委員会付託を省略します。

これより討論を行います。

討論はありませんか。

(「なし」の声あり)

討論なしと認めます。

これをもって討論を終結します。

これより直ちに採決を行います。

本案は、原案のとおり決定することに賛成の諸君の起立を求めます。

(賛成者起立)

起立多数です。

よって、本案は原案のとおり可決されました。

この際、暫時休憩いたします。14時15分まで休憩いたします。

(休憩 14時01分)

(再開 14時15分)

○議長(酒永光志君) 休憩前に引き続き、会議を開きます。

西川土木建築部長から発言を求めていますのでこれを許します。

西川土木建築部長。

○土木建築部長(西川貴則君) 議案第77号の(仮称)柿浦交流プラザ新築工事(建築)請負契約の締結についての議案に関しまして、筭本議員のほうから御質問がございました。それに対してその場では答えることができませんでしたので、改めて答弁させていただきたく思います。よろしくお願いします。

議案書61ページの工事概要のところ、四つの主な工事内容というのがあるんですが、これらに対する大体の内訳というお尋ねでございます。

まず、お答えさせていただく前に、こちら今仮契約という形で上程させていただいているんですが、こちらの工事については総価契約ということで、こちらの工事全体、これらの工事全体を含めて請負対象額としまして2億9,200万余りの工事を仮契約をさせていただいたというような経緯がございます。

内訳の細かいところについては、やはりちょっと、今後の工事を進めていく過程ですとか、その辺のことを考えますと詳細説明をすることはやっぱりできませんので、大体の割合でお答えさせていただければと思います。

まずは、2番目の建物本体工事という部分がですね、大体我々の思いで言いますと、おおむね8割程度ぐらい、全体の8割程度ぐらいを占めるかなということで大半を占めるものかなと思っております。残りのところで、次に主なものでいうと外構の工事ということで1割前後ぐらいかなというふうに思っております。残りの1割が1番の地盤改

良工事、それと4番の道路整備工事というような、大きくはそのような内訳になっておりまして、こちらの工事としましては、建物本体工事というのをしっかり造っていく中で、それに附随する地盤改良工事、あるいは外構工事、それから道路整備工事というものを一式で進めていくという計画になっているものでございます。

以上でございます。

日程第18 議案第79号

○議長（酒永光志君） 日程第18、議案第79号 広島県市町総合事務組合の共同処理する事務の変更及び広島県市町総合事務組合同規約の変更に係る協議についてを議題といたします。

直ちに提出者から提案理由の説明を求めます。

明岳市長。

○市長（明岳周作君） ただいま上程されました議案第79号 広島県市町総合事務組合の共同処理する事務の変更及び広島県市町総合事務組合同規約の変更に係る協議についてでございます。

広島県市町総合事務組合の共同処理する事務を変更し、これに伴い、別紙のとおり広島県市町総合事務組合同規約を変更することに関し、広島県市町総合事務組合と協議を行うことについて、地方自治法第290条の規定により議会の議決を求めるものでございます。

内容につきましては総務部長から説明をいたします。よろしく願いいたします。

○議長（酒永光志君） 奥田総務部長。

○総務部長（奥田修三君） それでは、議案第79号につきまして御説明いたします。

本議案は、府中町からの申請により、退職手当の支給に関する事務を広島県市町総合事務組合において共同処理しようとするものでございます。これに伴い、共同処理する事務の変更及びそれに伴う規約の変更に関する協議を行うことについて議決をお願いするものです。

議案書の70ページに改正条文を、71ページに参考資料として改正規約案の新旧対照表をお示ししております。

参考資料により御説明いたしますので71ページをお願いします。

新旧対照表の右の欄には現行のものを、左の欄には改正案として、改正部分を抜粋しております。組合市町の職員に対する退職手当の支給に関する事務を共同処理する組合に府中町を加えるものでございます。

70ページをお願いします。

附則として、この規約は、令和6年4月1日から施行することとしております。

説明につきましては以上でございます。

○議長（酒永光志君） 以上で、提案理由の説明を終わります。

これより質疑を行います。

質疑はありませんか。

(「なし」の声あり)

質疑なしと認めます。

これをもって質疑を終結します。

本案は、会議規則第37条第3項の規定により、委員会付託を省略したいと思います。

これに御異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

御異議なしと認めます。

よって、本案は委員会付託を省略します。

これより討論を行います。

討論はありませんか。

(「なし」の声あり)

討論なしと認めます。

これをもって討論を終結します。

これより直ちに採決を行います。

本案は、原案のとおり決定することに賛成の諸君の起立を求めます。

(賛成者起立)

起立多数です。

よって、本案は原案のとおり可決されました。

日程第19 議案第80号

○議長(酒永光志君) 日程日程第19、議案第80号 江田島市過疎地域持続的発展計画の変更についてを議題といたします。

直ちに提出者から提案理由の説明を求めます。

明岳市長。

○市長(明岳周作君) ただいま上程されました議案第80号 江田島市過疎地域持続的発展計画の変更についてでございます。

江田島市過疎地域持続的発展計画中の事業を追加したいので、過疎地域の持続的発展の支援に関する特別措置法第8条第10項において準用する同条第1項の規定により議会の議決を求めるものでございます。

内容につきましては企画部長から説明をいたします。よろしくお願いいたします。

○議長(酒永光志君) 畑河内企画部長。

○企画部長(畑河内真君) それでは、議案第80号について御説明いたします。

こちらは令和5年6月6日に開催された市議会全員協議会において、市民生活部から御説明いたしましたクリーンセンターくれの整備に伴う本市の負担金に対し過疎対策事業債を充当可能とするために、江田島市過疎地域持続的発展計画に当該事業を追加するというものでございます。

議案書74ページに改正事項、参考資料といたしまして75ページから76ページに新旧対照表、77ページに広島県知事への変更協議書の写しを、78ページに広島県知

事から変更には異議ない旨の回答書の写しを、79ページに関係法律の抜粋を添付しております。

説明については75ページからの新旧対照表のほうで御説明いたします。75ページをお願いいたします。

75ページでございます。新旧対照表の右側が現行、左側が改正案となっております。下線部について改正を行うものです。この計画においては、ごみ処理施設等に関する記述をしておりますが、現在、現行については、可燃ごみ集積施設としてリレーセンターのみを記載しております。これにクリーンセンターくれを追加するというものでございます。

76ページをお願いいたします。

76ページの表になります。事業計画の表の廃棄物処理施設の項目において、項目に記載している箇所、現在はリレーセンター、環境センターの記載となっておりますので、ここに、同じくクリーンセンターくれを新たに追加いたします。また、計画の最後に改定月を追記いたします。

今回の計画変更は、今後、多額の負担金の発生が見込まれるごみ処理施設の整備を計画に計上することで、有利な財源である過疎対策事業債を活用可能とし、市の財政負担を軽減した上で事業推進を図るというものでございます。

以上で議案第80号の説明を終わります。

○議長（酒永光志君） 以上で、提案理由の説明を終わります。

これより質疑を行います。

質疑はありませんか。

岡野議員。

○8番（岡野数正君） この件ですが、まず、江田島市過疎地域持続的発展計画の中に、これはクリーンセンターくれを入れたい、過疎債の適用を受けたいというようなことではないかと思えます。今回の補正の中にもその建設負担金として債務負担行為の補正、25億5,000万ぐらい上がってます。恐らくこれ絡みのことだろうと思うんですが、これもっと早く過疎債の適用を受けるべくここの中に盛り込んでおくことだったのではないかというふうに思うんですが、なぜ今の時期にこれを上げられたのか、その経緯も含めてちょっと御説明をいただきたいと思えます。

○議長（酒永光志君） 江郷市民生活部長。

○市民生活部長（江郷吉行君） 新たな過疎法に基づくこの過疎計画は、令和3年の12月のこの定例会で議決をいただきました。同時期、呉市では、令和3年12月にごみ処理施設の建て替えの方針を決定しました。それを市議会の委員会に報告して、令和4年度から呉市、江田島市、今治市、3市で具体的な検討を始めました。その概要が決定されましたので、本市においても令和5年6月の全員協議会で議員の皆様へ報告いたしました。その後、過疎計画の変更について広島県と協議し、整いましたので今回の定例会に過疎計画の変更を上程したものです。

以上です。

○議長（酒永光志君） ほかに質疑はありませんか。

(「なし」の声あり)

質疑なしと認めます。

これをもって質疑を終結します。

本案は、会議規則第37条第3項の規定により、委員会付託を省略したいと思います。

これに御異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

御異議なしと認めます。

よって、本案は委員会付託を省略します。

これより討論を行います。

討論はありませんか。

(「なし」の声あり)

討論なしと認めます。

これをもって討論を終結します。

これより直ちに採決を行います。

本案は、原案のとおり決定することに賛成の諸君の起立を求めます。

(賛成者起立)

起立多数です。

よって、本案は原案のとおり可決されました。

日程第20 議案第81号

○議長(酒永光志君) 日程第20、議案第81号 令和5年度江田島市一般会計補正予算(第5号)についてを議題とします。

直ちに提出者から提案理由の説明を求めます。

明岳市長。

○市長(明岳周作君) ただいま上程されました議案第81号 令和5年度江田島市一般会計補正予算(第5号)でございます。

令和5年度江田島市一般会計補正予算(第5号)は、次に定めるところによる。

歳入歳出予算の補正。

第1条 歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ4億9,477万6,000円を追加、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ159億5,520万9,000円とする。

第2項 歳入歳出予算の補正の款項の区分及び当該区分ごとの金額並びに補正後の歳入歳出予算の金額は、「第1表 歳入歳出予算補正」による。

繰越明許費。

第2条 地方自治法第213条第1項の規定により翌年度に繰り越して使用することができる経費は、「第2表 繰越明許費」による。

債務負担行為の補正。

第3条 債務負担行為の追加及び変更は、「第3表 債務負担行為補正」による。

地方債の補正。

第4条 地方債の変更及び廃止は、「第4表 地方債補正」による。

内容につきましては総務部長から説明をいたします。よろしくお願いいたします。

○議長（酒永光志君） 奥田総務部長。

○総務部長（奥田修三君） それでは議案第81号につきまして、歳入歳出補正予算事項別明細書で御説明いたします。

事項別明細書の20ページ、21ページをお願いします。

初めに、歳入からです。

14款使用料及び手数料、1項使用料、2目民生使用料は、子育て世代包括支援センターに設置した自動販売機の設置使用料の増額補正です。

15款国庫支出金、1項国庫負担金、1目民生費国庫負担金は、保険基盤安定負担金及び子育てのための施設等利用給付費交付金の増額補正です。

2項国庫補助金、1目総務費国庫補助金は、社会保障税番号制度システム整備費補助金の増額補正です。

2目民生費国庫補助金は、障害者自立支援給付審査支払システム改修補助金及び保育対策総合支援事業費補助金の増額補正です。

22ページ、23ページをお願いします。

3項委託金、6目衛生費委託金は、乳幼児身体発育調査委託金の増額補正です。

16款県支出金、1項県負担金、2目民生費県負担金は、保険基盤安定負担金及び子育てのための施設等利用給付費交付金の増額補正です。

2項県補助金、2目民生費県補助金は、県保育対策総合支援事業費補助金の増額補正です。

6目土木費県補助金は、県移譲事務交付金の増額補正です。

18款1項寄附金、1目一般寄附金及び2目指定寄附金は、収入見込みによる一般寄附金、ふるさと寄附金の増額補正です。

24、25ページをお願いします。

19款繰入金、2項基金繰入金、1目財政調整基金繰入金は、財源調整に伴う増額補正です。

20款1項1目繰越金は、令和4年度決算認定に伴います前年度繰越金の増額補正です。

21款諸収入、5項4目雑入は、自動販売機設置手数料、電気代の増額補正です。

5目過年度収入は、前年度事業の精算に伴います福祉医療費補助金などの追加交付による増額補正です。

22款1項市債、4目農林水産業債及び6目土木債は、過疎対策事業債の農業集落排水事業と下水道整備事業の減額補正です。また、農林水産事業債では、緊急自然災害防止対策事業債の増額補正を行っております。

続きまして、歳出です。

このたびの歳出に係る補正予算の主なものは、人事院勧告に伴います職員給与費、旧ユウホウ紡績工場跡地活用や海辺の新鮮市場再開に向けた環境整備費用、前年度事業の

精算に伴う補助金返還金などを計上しております。

それでは、職員給与費関係を除く主な補正につきまして御説明いたします。

28、29ページをお願いします。

1款1項1目議会費は、人事院勧告に伴います議員期末手当の増額補正です。

2款総務費、1項総務管理費、1目一般管理費は、庁舎維持管理事業費として、本庁防犯用カメラ、トイレ等の修繕料の増額補正です。

30、31ページをお願いします。

3目財政管理費は、ふるさと寄附の収入見込みに伴う業務委託料などの増額補正です。

5目財産管理費は、旧ユウホウ紡績工場跡地の活用公募に伴います地中構造物撤去などの環境整備費用の増額補正です。

このページ下段から32、33ページをお願いします。

2項徴税費、2目賦課徴収費は、森林環境税の賦課徴収対応に伴うシステム改修委託料の増額補正です。

3目滞納対策費は、会計年度任用職員の時間外報酬の増額補正です。

3項1目戸籍住民基本台帳費は、法改正に伴います戸籍システムの読み仮名対応改修業務委託料などの増額補正です。

34、35ページをお願いします。

3款民生費、1項社会福祉費、1目社会福祉総務費は、国民健康保険特別会計の補正に伴う繰出金、前年度事業の精算に伴います社会福祉法人指導監査事業などの返還金の増額補正です。

このページ下段から36、37ページをお願いします。

2目障害者福祉費は、報酬改定に伴うシステム改修委託料及び返還金の増額補正です。

3目老人福祉費は、介護保険（保険事業勘定）特別会計の補正に伴う繰出金の増額補正です。

4目後期高齢者医療費は、前年度事業の精算に伴う療養給付費負担金の増額補正です。

2項児童福祉費、1目児童福祉総務費及び2目児童措置費は、子育て世帯生活支援特別給付金事業などの前年度精算に伴う補助金の返還金の増額補正です。

38、39ページをお願いします。

3目保育施設費は、使用済みオムツ保管用ごみ箱などの備品購入費及び認可外保育利用者に対する扶助費の増額補正です。

4目児童福祉施設費は、前年度事業の精算に伴う返還金の増額補正です。

40、41ページをお願いします。

3項生活保護費、2目扶助費は、前年度事業の精算に伴う補助金の返還金の増額補正です。

4款衛生費、1項保健衛生費、2目予防費及び3目母子保健費は、前年度事業の精算に伴う補助金の返還金増額補正です。

42、43ページをお願いします。

4目健康増進費は、前年度事業の精算に伴う補助金の返還金の増額補正です。

2項清掃費、4目リレーセンター費は、排水処理システムの不具合に伴う汚泥運搬手

数料の増額補正です。

44、45ページをお願いします。

6款農林水産業費、1項農業費、4目農村整備費は、三高ダムポンプ設備の補修工事費の増額補正です。

3項水産業費、2目水産業振興費は、海辺の新鮮市場の再開に向けた施設の修繕料、清掃委託料、工事費の増額補正です。

46、47ページをお願いします。

8款土木費、2項道路橋梁費、1目道路維持費は、県移譲事務交付金の増額に伴う工事請負費の増額補正です。

職員給与費が続きまして、50、51ページをお願いします。

9款1項消防費、1目常備消防費は、通信指令台無停電装置交換に係る修繕料の増額補正です。

52、53ページをお願いします。

10款教育費、4項社会教育費、1目社会教育総務費は、放課後児童健全育成事業の前年度精算に伴う補助金の返還金の増額補正です。

13款諸支出金、1項基金費、1目財政調整基金費は、前年度決算に伴う剰余金の積立て及び15目ふるさと応援基金費は、ふるさと寄附金の収入見込みに伴う積立金の増額補正です。

54、55ページをお願いします。

2項1目公営企業費は、下水道事業会計の補正に伴う繰出金の減額補正です。

予算書の5ページにお戻りください。

第2表 繰越明許費です。

大君地区企業誘致促進事業ほか1件について、年度内の完成が見込めないため、繰越明許費を設定させていただくものです。

6ページ、7ページをお願いします。

第3表 債務負担行為補正です。

自家用電気工作物保安業務委託ほか16件を追加し、こども計画策定業務委託の1件を変更するものです。

8ページをお願いします。

第4表 地方債補正です。

変更としまして、緊急自然災害防止対策事業債ほか1件を、廃止としまして過疎対策事業債、農業集落排水事業の1件をお願いしています。

なお、事項別明細書の56ページから58ページに給与費明細書、59ページに債務負担行為に関する調書、60ページに地方債現在高見込みに関する調書をお示ししております。

説明につきましては以上でございます。

○議長（酒永光志君） 以上で、提案理由の説明を終わります。

ただいま議題となりました令和5年度江田島市一般会計補正予算（第5号）については、総務文教常任委員会に付託します。

日程第 2 1 議案第 8 2 号

○議長（酒永光志君） 日程第 2 1、議案第 8 2 号 令和 5 年度江田島市国民健康保険特別会計補正予算（第 1 号）を議題とします。

直ちに提出者から提案理由の説明を求めます。

明岳市長。

○市長（明岳周作君） ただいま上程されました議案第 8 2 号 令和 5 年度江田島市国民健康保険特別会計補正予算（第 1 号）でございます。

令和 5 年度江田島市国民健康保険特別会計補正予算（第 1 号）は次に定めるところによる。

歳入歳出予算の補正。

第 1 条 歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ 2 2 4 万 1, 0 0 0 円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ 3 4 億 5, 2 2 4 万 1, 0 0 0 円とする。

第 2 項 歳入歳出予算の補正の款項の区分及び当該区分ごとの金額並びに補正後の歳入歳出予算の金額は、「第 1 表 歳入歳出予算補正」による。

内容につきましては福祉保健部長から説明をいたします。よろしくお願いいたします。

○議長（酒永光志君） 仁城福祉保健部長。

○福祉保健部長（仁城靖雄君） それでは、議案第 8 2 号につきまして歳入歳出補正予算事項別明細書で御説明をいたします。

事項別明細書の 6 4 ページ、6 5 ページをお願いいたします。

初めに、歳入でございます。

3 款県支出金、1 項県補助金、1 目保険給付費等交付金は、財源更正による普通交付金の減額補正及び国保税の徴収員報酬の増額に伴います特別交付金の増額補正でございます。

5 款繰入金、1 項 1 目一般会計繰入金は、人事院勧告等に伴います職員給与費等繰入金及び制度改正に伴います産前産後保険税繰入金の増額補正でございます。

6 款 1 項 1 目繰越金は、前年度繰越金の増額補正でございます。

8 款国庫支出金、1 項国庫補助金、1 目保険給付費国庫補助金は、健康保険組合と出産育児一時金臨時補助金の増額補正でございます。

続きまして、歳出でございます。

6 6 ページ、6 7 ページをお願いいたします。

1 款総務費、1 項総務管理費、1 目一般管理費は、人事院勧告等に伴います職員給与費の増額補正でございます。

2 項徴税費、1 目賦課徴収費は、徴収員報酬の増額補正でございます。

2 款保険給付費、4 項出産育児諸費、1 目出産育児一時金は、財源更正でございます。次のページ、6 8 ページ、6 9 ページをお願いいたします。

3 款 1 項 1 目国民健康保険事業費納付金は、財源更正でございます。

7 款諸支出金、1 項償還金及び還付加算金、2 目償還金は、令和 4 年度事業の精算に

伴います特定健康診査保健指導負担金等返還金の増額補正でございます。

70ページから71ページには給与費明細書をお示ししております。

説明につきましては以上でございます。

○議長（酒永光志君） 以上で、提案理由の説明を終わります。

これより質疑を行います。

質疑はありませんか。

（「なし」の声あり）

質疑なしと認めます。

これをもって質疑を終結します。

本案は、会議規則第37条第3項の規定により、委員会付託を省略したいと思います。

これに御異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

御異議なしと認めます。

よって、本案は委員会付託を省略します。

これより討論を行います。

討論はありませんか。

（「なし」の声あり）

討論なしと認めます。

これをもって討論を終結します。

これより直ちに採決を行います。

本案は、原案のとおり決定することに賛成の諸君の起立を求めます。

（賛成者起立）

起立多数です。

よって、本案は原案のとおり可決されました。

日程第22 議案第83号

○議長（酒永光志君） 日程第22、議案第83号 令和5年度江田島市介護保険（保険事業勘定）特別会計補正予算（第2号）を議題とします。

直ちに提出者から提案理由の説明を求めます。

明岳市長。

○市長（明岳周作君） ただいま上程されました議案第83号 令和5年度江田島市介護保険（保険事業勘定）特別会計補正予算（第2号）でございます。

令和5年度江田島市介護保険（保険事業勘定）特別会計補正予算（第2号）は、次に定めるところによる。

歳入歳出予算の補正。

第1条 歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ158万5,000円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ34億9,207万9,000円とする。

第2項 歳入歳出予算の補正の款項の区分及び当該区分ごとの金額、並びに補正後の

歳入歳出予算の金額は、「第1表 歳入歳出予算補正」による。

内容につきましては福祉保健部長から説明をいたします。よろしくお願いいたします。

○議長（酒永光志君） 仁城福祉保健部長。

○福祉保健部長（仁城靖雄君） それでは、議案第83号につきまして歳入歳出補正予算事項別明細書で御説明をいたします。

事項別明細書の76ページ、77ページをお願いいたします。

初めに、歳入でございます。

3款国庫支出金、2項国庫補助金、3段目の6目介護保険事業補助金は、介護保険システム改修に伴います補助金の増額補正でございます。

そして、地域支援事業交付金につきましては、同じく3款国庫支出金、その下、4款支払基金交付金、その下、5款県支出金、そしてその下、7款繰入金、1項一般会計繰入金のうち、2目及び次のページの3目におきまして、それぞれ交付金や繰入金の増減を行っております。

次のページ、78ページ、79ページをお願いいたします。

7款繰入金、1項一般会計繰入金、2段目の5目その他一般会計繰入金は、職員給与費繰入金、事務費繰入金の増額補正でございます。

続きまして、歳出でございます。

80ページ、81ページをお願いいたします。

1款総務費、1項総務管理費、1目一般管理費は、人事院勧告に伴います職員給与費の増額補正でございます。また、介護報酬改定に伴います介護保険システム改修業務委託料の増額補正でございます。

5款地域支援事業費、1項地域支援事業管理費、1目一般管理費は、職員の年度途中での退職に伴います職員給与費の減額補正でございます。

なお、82ページから83ページには、給与費明細書をお示ししております。

説明につきましては以上でございます。

○議長（酒永光志君） 以上で、提案理由の説明を終わります。

これより質疑を行います。

質疑はありませんか。

（「なし」の声あり）

質疑なしと認めます。

これをもって質疑を終結いたします。

本案は、会議規則第37条第3項の規定により、委員会付託を省略したいと思います。これに御異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

御異議なしと認めます。

よって、本案は委員会付託を省略します。

これより討論を行います。

討論はありませんか。

（「なし」の声あり）

討論なしと認めます。

これをもって討論を終結します。

これより直ちに採決を行います。

本案は、原案のとおり決定することに賛成の諸君の起立を求めます。

(賛成者起立)

起立多数です。

よって、本案は原案のとおり可決されました。

日程第 2 3 議案第 8 4 号

○議長(酒永光志君) 日程第 2 3、議案第 8 4 号 令和 5 年度江田島市下水道事業会計補正予算(第 2 号)を議題とします。

直ちに提出者から提案理由の説明を求めます。

明岳市長。

○市長(明岳周作君) ただいま上程されました議案第 8 4 号 令和 5 年度江田島市下水道事業会計補正予算(第 2 号)でございます。

内容につきましては土木建築部長から説明をいたします。よろしくお願いいたします。

○議長(酒永光志君) 西川土木建築部長。

○土木建築部長(西川貴則君) それでは、議案第 8 4 号 令和 5 年度江田島市下水道事業会計補正予算(第 2 号)について御説明いたします。

このたびの補正は、人事院勧告に伴う人件費増額補正、修繕及び工事箇所追加による修繕費、工事費の増額補正、並びに現行予算に債務負担行為の追加をするものでございます。

令和 5 年度江田島市下水道事業会計補正予算書の 1 ページを御覧ください。

第 1 条 令和 5 年度江田島市下水道事業会計の補正予算(第 2 号)は、次に定めるところによる。

第 2 条 令和 5 年度江田島市下水道事業会計予算(以下「予算」という。)第 3 条に定めた収益的収入及び支出の予定額を次のとおり補正する。

まず、収入について。

第 1 款下水道事業収益の第 1 項営業収益を 5 6 万 9, 0 0 0 円の増額。

第 2 項営業外収益を 5 4 9 万 6, 0 0 0 円の増額補正を行いまして、第 1 款下水道事業収益の補正後合計額を 1 2 億 7, 6 2 0 万 6, 0 0 0 円とするものでございます。

次に、支出について。

第 1 款下水道事業費用の第 1 項営業費用を 6 0 6 万 5, 0 0 0 円の増額補正を行いまして、第 1 款下水道事業費用の補正後合計額を 1 2 億 8, 5 9 0 万 6, 0 0 0 円とするものです。

第 3 条 予算第 4 条本文括弧書き中、資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額 3 億 9, 1 8 0 万 2, 0 0 0 円を 4 億 2, 5 0 3 万 6, 0 0 0 円に増額し、補填財源である当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額 1, 6 7 0 万 6, 0 0 0 円を 1,

697万9,000円に、過年度分損益勘定留保資金2億702万4,000円を2億1,541万1,000円に、当年度分損益勘定留保資金1億6,807万2,000円を1億9,264万6,000円に改め、資本的収入及び支出の予定額を次のとおり補正する。

まず、収入について。

第1款資本的収入の第5項負担金を3,000万円の減額補正を行い、第1款資本的収入の補正後合計額を1億4,950万円とするものです。

次に、支出について。

第1款資本的支出の第1項建設改良費を323万4,000円の増額補正を行い、第1款資本的支出の補正後合計額を5億7,453万6,000円とするものです。

第4条 予算第8条に定めた職員給与費を129万9,000円の増額補正を行い、6,270万円に改めるものです。

第5条 予算第9条に定めた一般会計からの補助金を422万3,000円の増額補正を行い、3億1,355万7,000円に改めるものです。

第6条 令和5年度江田島市下水道事業会計予算第9条の次に次の1条を加える。

2ページをお願いします。

第10条 債務負担行為をすることができる事項、期間及び限度額について次のとおり追加するものです。これは、江田島中央浄化センター等維持管理業務委託ほか7件の業務委託等について、年間を通して切れ目なく契約を行うため、年度末に翌年度の契約を締結することを目的としたもので、それぞれの期間、限度額については、記載のとおりでございます。

補正の内容につきまして、8、9ページの費目別内訳書を御覧ください。

8ページで、(1)収益的収入及び支出の部。

収入についてです。

第1款下水道事業収益、第1項営業収益、第3目一般会計負担金の普及促進費負担金とその他負担金、合わせて56万9,000円の増額。

第2項営業外収益、第2目一般会計補助金を422万3,000円増額。

第4目消費税及び地方消費税還付金を127万3,000円増額し、第1款下水道事業収益の補正予定額を合わせて606万5,000円増額するものです。

次に、支出についてです。

第1款下水道事業費用、第1項営業費用、第1目管渠費は、修繕箇所追加による修繕費300万円の増額。

第2目処理場費は、人事院勧告に伴う給料、手当等、賞与金引当額繰入額、法定福利費の増額及び修繕箇所追加による修繕費、合わせて221万3,000円の増額。

第3目普及促進費は、人事院勧告に伴う給料、手当等、法定福利費、合わせて69万6,000円の増額。

4目総係費の給料、手当等、賞与引当金繰入額、法定福利費については、人事院勧告による人件費15万6,000円の増額補正を行い、第1款下水道事業費用の補正予定額を606万5,000円増額するものです。

続きまして、9ページをお願いします。

(2) 資本的収入及び支出の部。

収入についてです。

第1款資本的収入、第5項負担金、第1目一般会計負担金は、過疎対策事業債の配分額減に伴う減額補正でございます。

続いて、支出についてです。

第1款資本的支出、第1項建設改良費、第2目処理場整備費の給料、手当等、賞与引当金繰入額及び法定福利費については、人事院勧告に伴う人件費の増額、工事費については、浄化センターの改修に伴う工事費300万円を増額し、第1款資本的支出の補正予定額、合わせて323万4,000円増額補正するものでございます。

その他、3ページに実施計画を、それから4ページにキャッシュフロー計算書、それから5ページから6ページに給与費明細書、また、債務負担行為に関する調書について7ページに記載をしております。

以上で説明を終わらせていただきます。よろしくをお願いします。

○議長(酒永光志君) 以上で、提案理由の説明を終わります。

これより質疑を行います。

質疑はありませんか。

(「なし」の声あり)

質疑なしと認めます。

これをもって質疑を終結します。

本案は、会議規則第37条第3項の規定により、委員会付託を省略したいと思います。

これに御異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

御異議なしと認めます。

よって、本案は委員会付託を省略します。

これより討論を行います。

討論はありませんか。

(「なし」の声あり)

討論なしと認めます。

これをもって討論を終結します。

これより直ちに採決を行います。

本案は、原案のとおり決定することに賛成の諸君の起立を求めます。

(賛成者起立)

起立多数です。

よって、本案は原案のとおり可決されました。

お諮りします。

本日の会議はこれで散会したいと思います。

御異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

御異議なしと認めます。

したがって、本日はこれにて散会することに決定しました。

なお、3日目は19日午前10時に開会いたしますので御参集願います。

本日は御苦労さまでした。

(散会 15時03分)